



# 事業計画及び成長性に関する事項

株式会社メディカルネット  
(東証グロース 3645)  
2023年8月31日



口腔周りから始まる

健康寿命増進プラットフォームビジネスNo.1

を目指し次元の異なる成長ステージへ

# Agenda

1. 会社概要
2. 事業概要
3. 市場環境
4. 2024年5月期計画
5. 成長戦略
6. 事業等のリスクと対応策



# 1. 会社概要





- 会社名 : 株式会社メディカルネット（東証グロース）  
証券コード : 3645  
事業内容 : **メディアプラットフォーム事業**  
**医療機関経営支援事業**  
**医療 B to B事業**
- 所在地 : （本社） 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14宝ビル3階  
（大阪支社） 大阪府大阪市西区西本町1-7-2ウエストスクエアビル4階  
（福岡出張所） 福岡県福岡市中央区大手門2-1-32  
フェニックス大手門ビルディング5階
- 代表者 : **代表取締役会長CEO 平川 大**  
**代表取締役社長COO 平川 裕司**
- 役員 : 取締役 5名、監査役 3名  
従業員 : 190名（連結：2023年5月31日 現在）  
上場日 : 2010年12月21日  
連結子会社 : **株式会社オカムラ（歯科器械材料・医薬品販売事業）**  
**ノーエチ薬品株式会社（医薬品・医薬部外品製造・販売事業）** ※孫会社  
**株式会社オカムラOsaka（歯科器械材料・医薬品販売事業）** ※孫会社  
（タイ） **Medical Net Thailand Co., Ltd.（歯科医院経営事業）**  
（タイ） **Pacific Dental Care Co., Ltd.（歯科医院経営事業）** ※孫会社  
（タイ） **Fukumori Dental Clinic Co., Ltd.（歯科医院経営事業）** ※孫会社  
（タイ） **NU-DENT Co., Ltd.（歯科器械材料・医薬品販売事業）** ※孫会社  
（タイ） **D.D.DENT Co., Ltd.（歯科器械材料・医薬品販売事業）** ※孫会社
- 関連会社 : 株式会社ガイドデント（歯科治療保証事業）

## 兄弟が代表を務める上場会社 弟が会長CEO、兄が社長COO

大学卒業後、コンパックコンピュータや日本ヒューレット・パカードなど外資系ITベンダーでPG・SE、製造業や通信・通販・メディア業界を担当するプリセールスやソリューション営業を経験。約10年間にわたるITビジネスの経験を活かし、株式会社メディカルネットで医療領域に顕在化する社会的課題をITを活用して解決するアプローチで数々の事業を牽引。

2010年12月東証マザーズに上場し、メディカルネットを数少ない「ヘルステック上場企業」に飛躍させる。上場後は新規事業や各種アライアンス・M&Aを手掛け、グループ経営・グローバル経営として社会的課題を解決するアプローチを継続拡大中。

2016年8月より株式会社メディカルネット代表取締役グループCEO。  
仕事以外で、医療やスポーツ関係、多様な家族関係が認められる社会実現など、幾つかの社会貢献活動を行っている。

1990年代は東芝グループ会社で営業に従事したのち、レーシングドライバーを目指しレース活動を行う。その後、築地市場でマグロを取り扱う仕事をしていたが、2000年に司法書士試験に合格。

2001年、IT×医療の無限の可能性に着目し、共同創業者の早川亮と早川竜介とともにエンジェル投資家として当社設立に参画。  
当社が上場準備に入る2007年に、上場準備責任者として業務執行も担当するようになり、年間上場数が22社のIPO冬の時代の2010年に当社を東証マザーズ上場へ導く。

2012年8月代表取締役副社長に就任し、交渉力と実行力でM&A等の実務を担い、当社の成長に尽力する。

2016年8月に、代表取締役社長に就任し、既存事業の立て直し、グループ会社の組織マネジメント、PMI等にも注力し、グループの事業拡大のため奔走する。



代表取締役会長CEO  
平川 大



代表取締役社長COO  
コンプライアンス担当取締役  
情報開示担当取締役（司法書士有資格者）  
平川 裕司

生活者・事業者に革新的なサービスを提供し続け、  
歯科医療プラットフォームビジネス・  
領域特化型プラットフォームビジネスにおいて、  
国内外でトップ企業となります。

## 1<sup>st</sup> Stage

2000年  
創業

資本業務提携等により事業領域を拡大

ポータルサイト  
運営開始

2006年  
Web制作・Webマーケティング  
の事業化

## 2<sup>nd</sup> Stage

2010年  
東証マザーズに上場  
(現 東証グロース)

理念経営  
社名変更  
組織体制変更  
事業ピボット  
グループ経営・多角化

## 3<sup>rd</sup> Stage

プラットフォーム  
ビジネスの強化  
バリューチェーン構築  
そしてグローバル展開

## MISSION 社会的存在意義

インターネットを活用し  
健康と生活の質を向上させることにより  
笑顔を増やします。

## VISION 目指す姿

生活者・事業者に革新的なサービスを提供し続け、  
歯科医療プラットフォームビジネス・  
領域特化型プラットフォームビジネスにおいて、  
国内外でトップ企業となります。

## VALUE 組織的価値観

変化なくして進歩なし  
あくなき挑戦である

情 熱  
向上心であり、自発性であり、責任であり、マインドである

スピード  
意識であり、発想であり、判断であり、言動であり、行動である

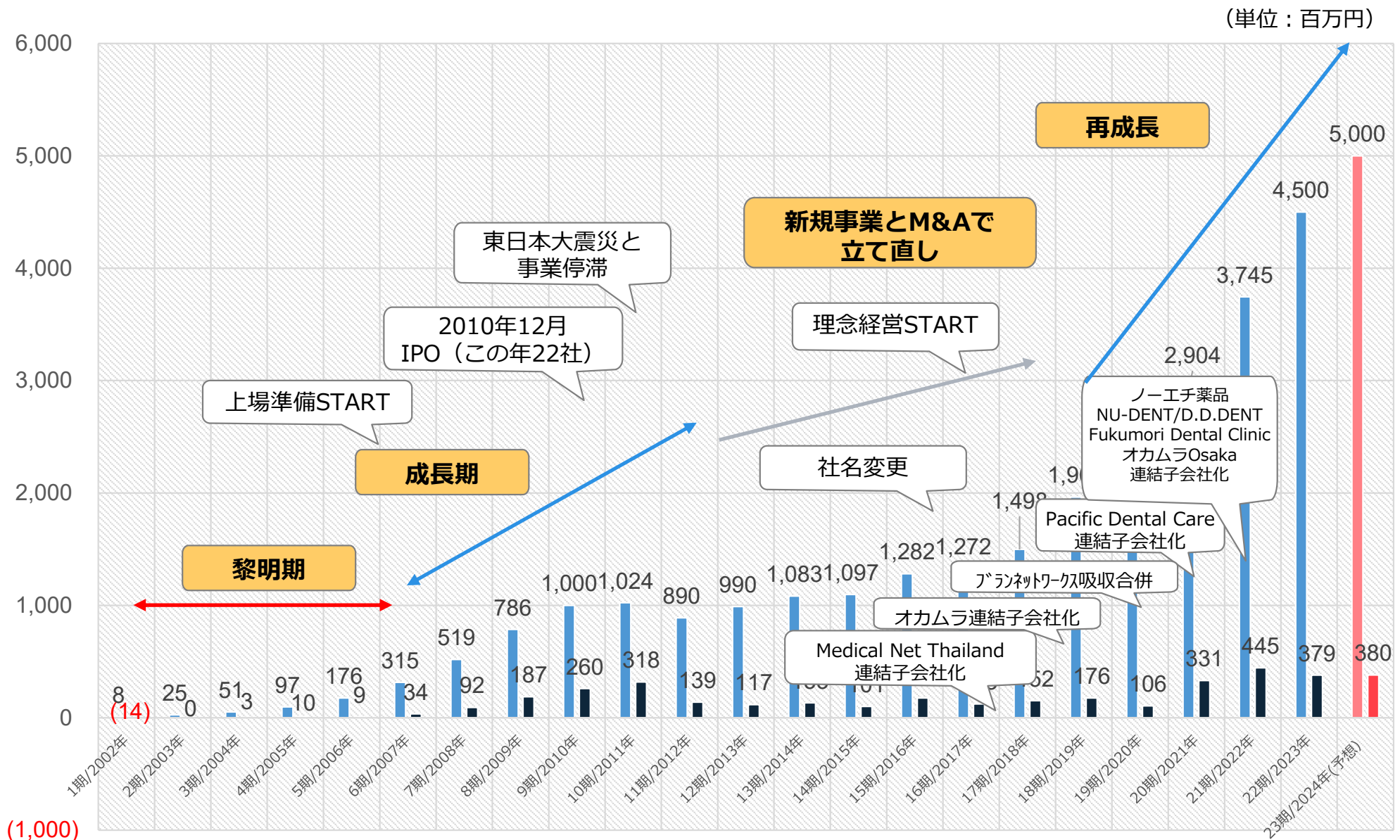
チームワーク  
協調であり、協力であり、競争であり、シナジーであり、利他である

リスペクト  
感謝であり、思慮であり、尊敬であり、真摯さである





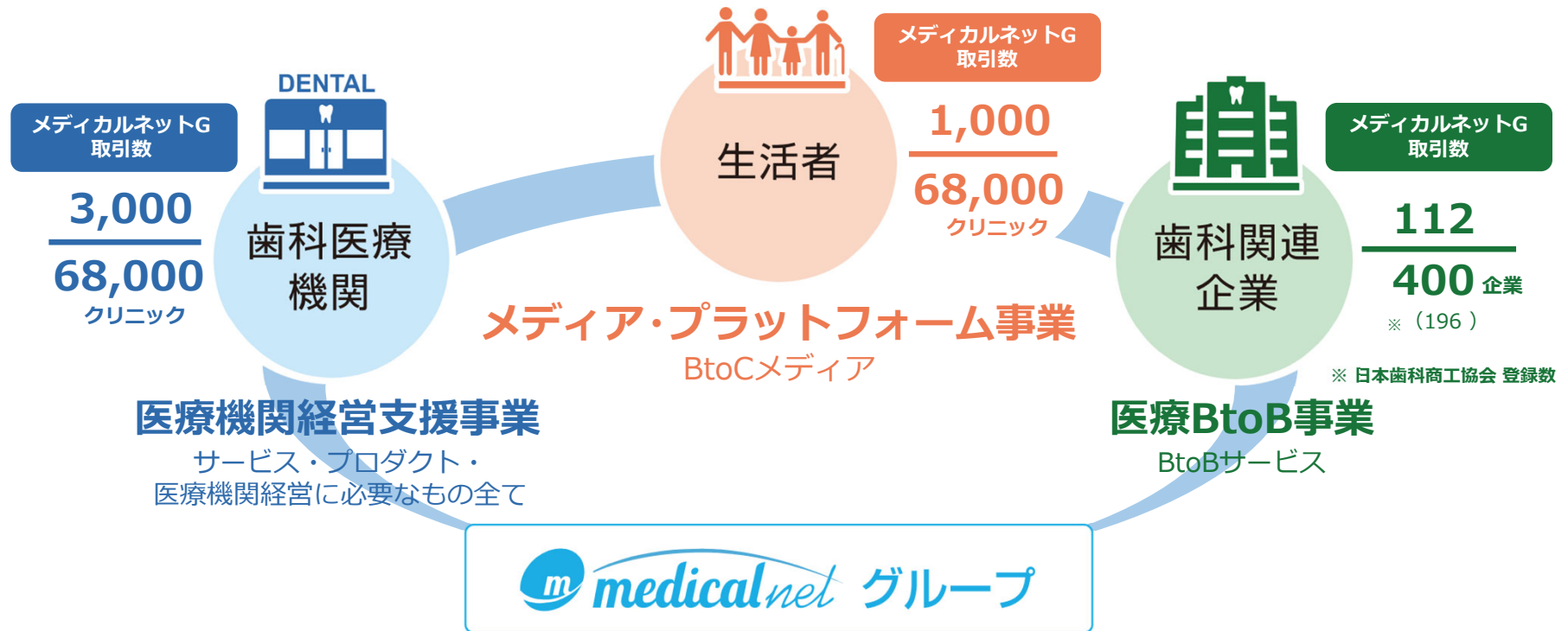
# 売上高・営業利益の推移と沿革



(1,000)

## 2. 事業概要





## 医療機関経営支援事業

- ・不動産 内装外装 機材
- ・集患・増患ソリューション
- ・内装・外装・デザイン・施工
- ・医療機材 (歯科総合商社)
- ・経営・開業支援
- ・事業承継
- ・人材キャリア
- ・医薬品・医薬部外品製造・販売
- etc...



## メディア・プラットフォーム事業

- ・インプラントネット
- ・矯正歯科ネット
- ・審美歯科ネット
- ・歯医者さんネット
- ・Ask Dentist

全 61サイトを運営

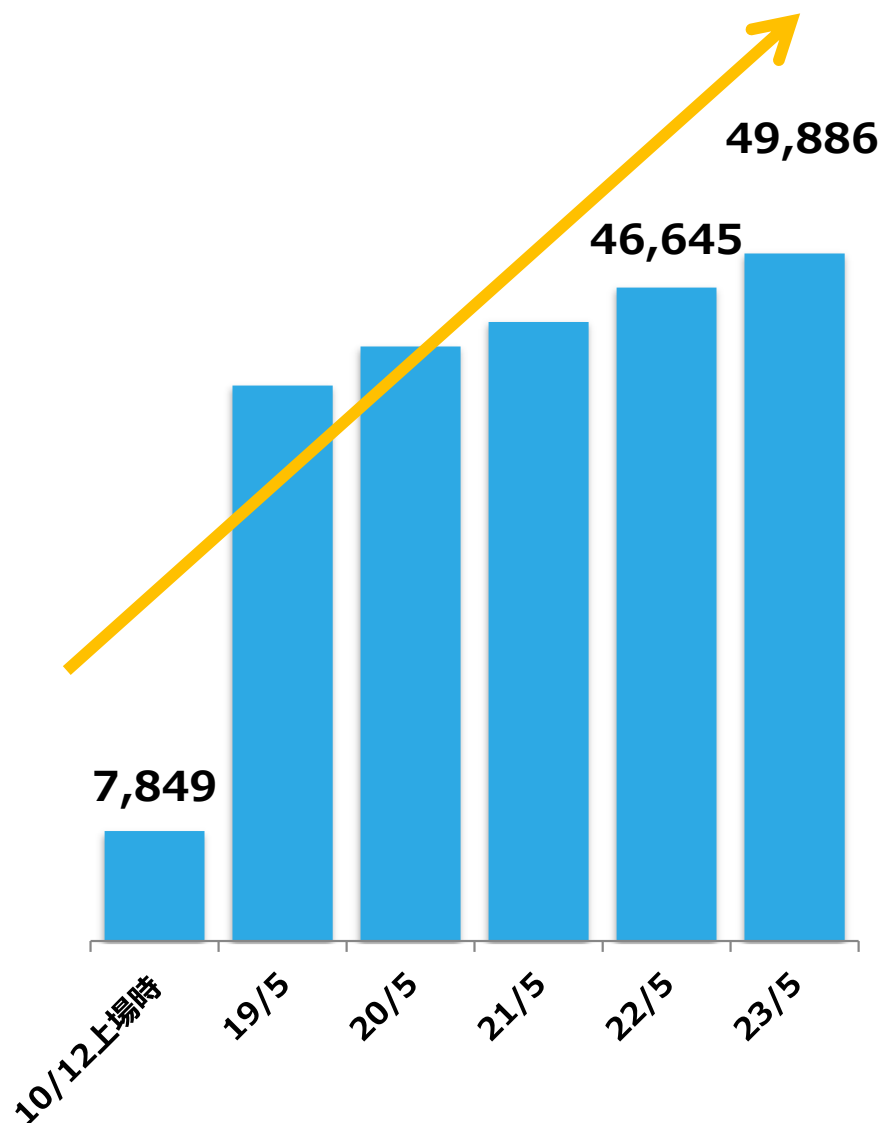


## 医療BtoB事業

**DentWave.com**

歯科医療従事者登録数

**49,359人**



メディカルネット  
グループ会員数

6.4倍


歯科業界の圧倒的な  
リーディングカンパニーへ

歯科医院の検索のほか、歯の基礎知識からインプラントなどの専門治療などの有益な情報を提供しております。

 **インプラントネット**<sup>®</sup>



<https://www.implant.ac/>

 **矯正歯科ネット**<sup>®</sup>



<https://www.kyousei-shika.net/>

 **審美歯科ネット**<sup>®</sup>



<https://www.shinbi-shika.net/>

 **歯医者さんネット**



<https://www.haishasan.net/>

 **エステ人気ランキング**



 **歯のお悩み相談なら Ask Dentist**



**気になる！美容整形**  **好きランキング**



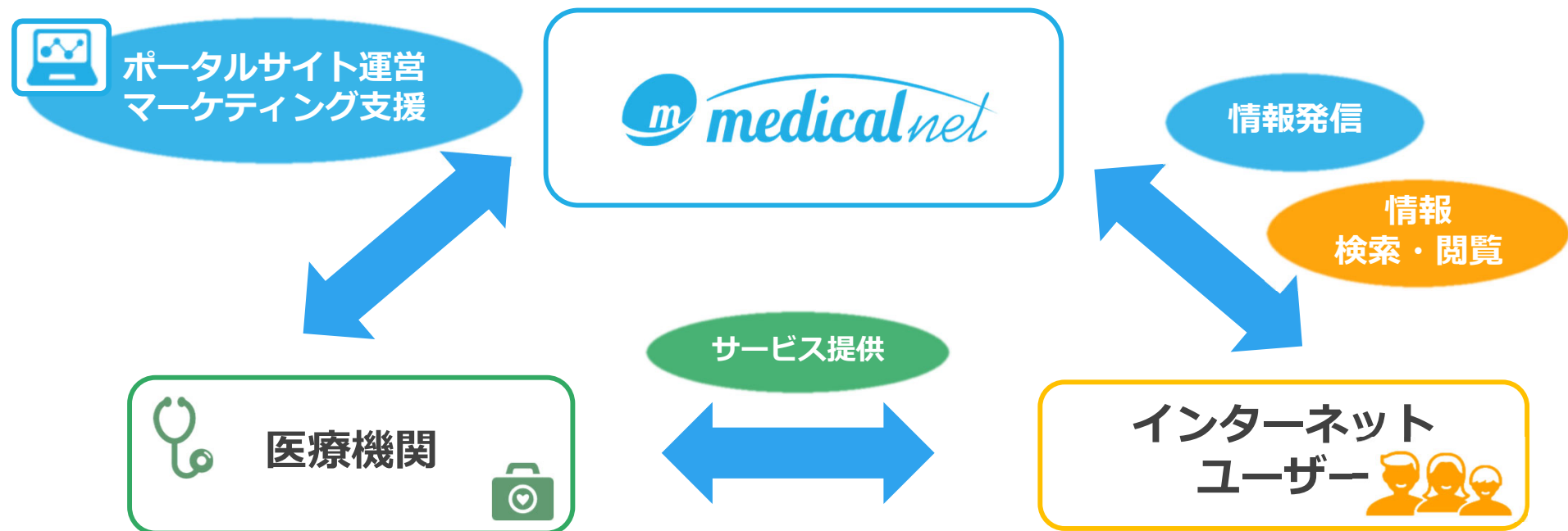
**PET検査ネット**



～インターネットを活用した医療・生活情報サービスの提供～

各ポータルサイトは、医療機関等を  
顧客として広告料収入を得て運営

契約形態は原則12カ月の継続契約(自動更新)であるため、  
収益モデルは積上げ式のストックビジネスとなっている。



### Web制作・メンテナンス

**優ビル歯科医院様**  
実績豊富な医院様に相応しいよう、高級感・重厚感にこだわって制作しました。あらゆるユーザー層にご覧頂けるよう、シンプルかつ分かりやすい見せ方を意識しています。

**恵比寿エスト矯正歯科様**  
清潔感のある女性的なデザインに仕上げました。アニメーションによる矯正装置の解説や、矯正用語辞典など、初めての方の疑問にお答えできるよう、充実したコンテンツを設けています。

歯科分野のポータルサイト運営で培ったノウハウや専門知識を活かし、歯科に精通した制作スタッフが、お客様のご要望に沿ったホームページを制作します。

当社では検索エンジンからの評価を考慮したサイト制作、ユーザーの利用シーンを意識したサイト制作を手がけております。

AI機能を搭載した  
WEB接客支援システム

DENchaT



### Webマーケティング

#### リスティング広告 運用代理サービス

特定のキーワードで検索エンジンから評価をされるために対象サイトを最適化するサービス。

#### SEOサービス

検索結果ページやコンテンツページに表示されるテキスト広告等の運用代サービス。

下記のプロフェッショナル資格取得者が運用を管理

Google Partner

YAHOO! JAPAN  
プロモーション広告

正規代理店

歯医者さんネット

1,180,000 件の検索結果 時間順並び / 高評価順並び

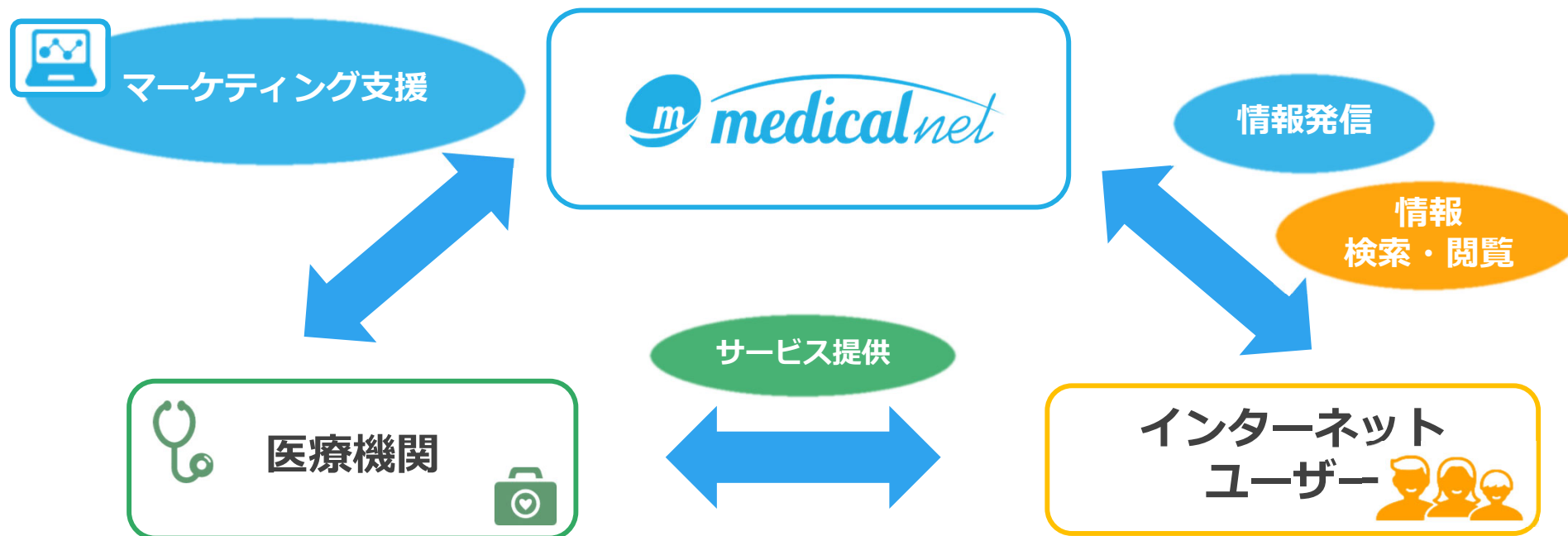
歯医者さんネットに掲載した広告

- あらゆるお悩みに入れ歯専門歯科・ハイライフグループ/関東20医院
- No.1歯検除去力のジーニアス・ブラウン オーラル8 公式サイト
- 田町駅/三田駅近くの評判の歯科
- 歯科医院デザインブランディング・デンタルデザインのプロ集団
- 歯医者さんネット全国6万件の歯科医院を検索できる歯科総...
- 歯医者さんネットとは
- 医院検索へ
- 歯医者さんネットでは
- 歯医者さんネットに掲載した広告
- 歯医者さんネットの検索結果
- 歯医者さんネットに掲載した広告
- 歯医者さんネットの検索結果
- 歯医者さんネットの検索結果

## ～インターネットを活用した医療機関の集患・増患ソリューション～

医療機関等のホームページの制作、メンテナンスおよびSEO対策、リスティング広告運用代行によるマーケティング支援をおこなっている。

契約形態は原則12カ月の継続契約(自動更新)であるため、収益モデルは積上げ式のストックビジネスとなっている。





### 開業・経営支援

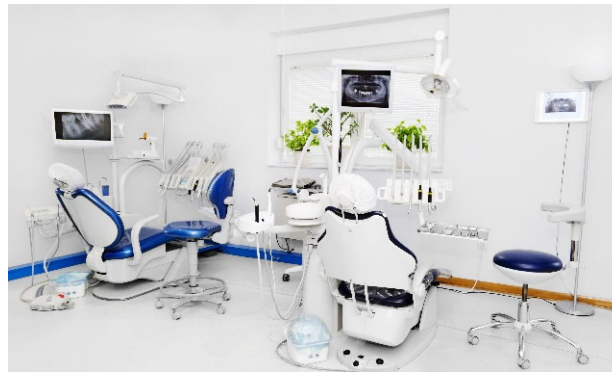


歯科医院の新規開業に伴う、物件、設備・インフラ、ホームページ、集患など多くの課題をトータルサポートしております。

また、開業後、先生が治療に専念し地域の歯科医療に貢献できるよう事務長代行サービス等で経営サポートしております。

さらに、スムーズな事業承継ができるようワンストップで対応しております。

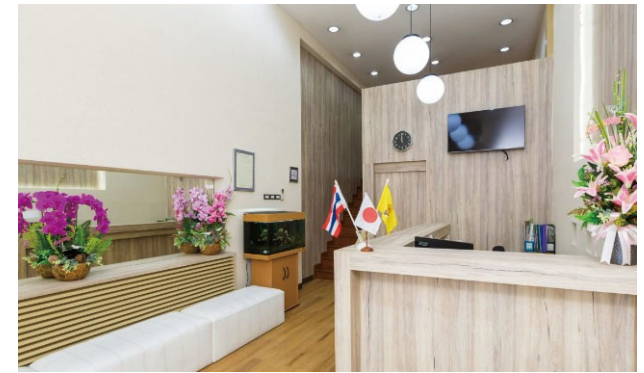
### 医療機材



日々の歯科治療で必要となる消耗品や歯科材料、高度管理医療機器の導入をトータルサポートしております。

協力企業と連携し、歯科医院に質の高いサービスをご提供しております。

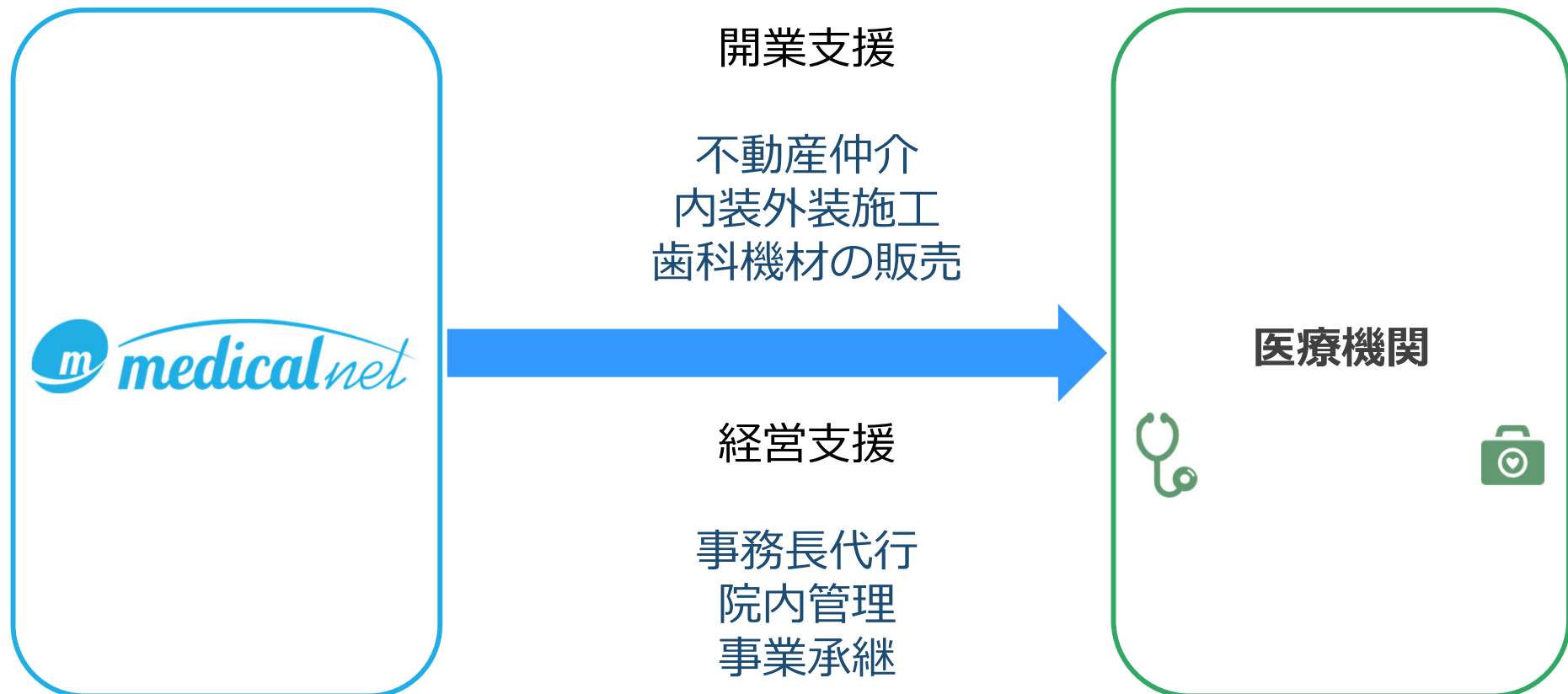
### 内装・外装・デザイン・施工



歯科医院の内装・外装及び、ロゴ・看板などのデザイン・施工まで対応しております。

## ～医療機関経営支援～

医療機関の開業、経営に係るソリューション  
医療機材の販売、事務長代行、事業承継をワンストップで提供。





信頼を届けるパートナーである  
歯科器械材料・医薬品

株式会社オカムラ

## 株式会社オカムラOsaka

創業33年の歯科商社。歯科医院に対して歯科  
機材ほか器具・薬品一式を販売しております。

関東を中心に事業を展開。

2022年5月に連結子会社（孫会社）株式会社  
オカムラOsakaを設立。

※株式会社オカムラと株式会社オカムラ  
Osaka は、2023年11月に株式会社オカムラを  
存続会社として、吸収合併する予定です。



## NU-DENT Co., Ltd.



タイ バンコク

## D.D.DENT Co., Ltd.



当社グループは、タイにおいても歯科プラットフォームの  
構築を推進するため、2022年3月31日にタイで歯科商社事業を  
行っているNU-DENT社及びD.D.DENT社の発行済み株式の全株  
式を取得し、連結子会社（孫会社）化いたしました。

NU-DENT社及びD.D.DENT社が持つ歯科商社事業のDX化の  
構想を推し進め、タイ国内でNo 1の歯科商社を目指します。



### ノイチ 薬品株式会社

創業60年の大衆医薬品のファブレスメーカー・医薬品卸として、大手ドラッグストアや調剤薬局に対して、医療用医薬品から一般医薬品に転用したスイッチOTC医薬品を中心に、ドラッグストア専売品やプライベートブランド商品を提供しております。

同社は「健康をテーマとして“楽しい生活”を創ります」をミッションに掲げ、製造部門を持たず製品のアイデアを考案・企画し、連携の深いメーカーにアイデアを提案し製品化を実現しております。

独自性ある医薬品を考案・企画することが使命と考え、常にお客様のニーズに沿った新しいアイデアを模索し、それを実らせ、価値ある情報を伴ったオリジナル製品として結晶することに努めております。



# 医療機関支援事業の収益モデル③



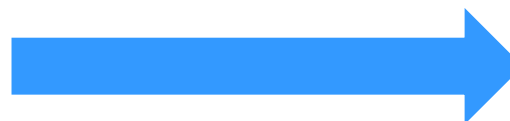
信頼を届けるパートナーである  
歯科器械材料・医薬品  
株式会社オカムラ

株式会社オカムラOsaka

歯科機材・医薬品の販売



NU-DENT Co., Ltd.



D.D.DENT Co., Ltd.



【脳恵智】

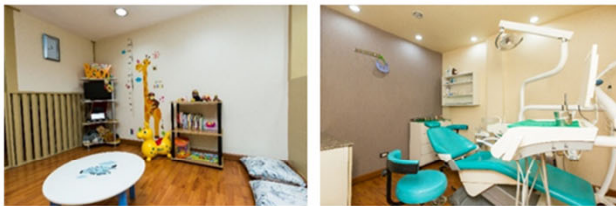
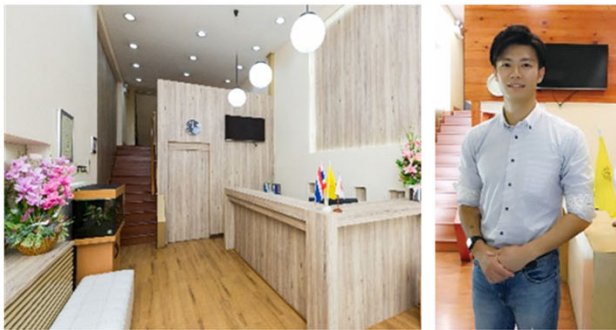
ノイチ 薬品株式会社

医薬品の製造・販売



日本の先進歯科医療技術を普及させ、  
タイの口腔内環境を向上し健康な社会にすることに貢献してまいります。

### ゆたかデンタルクリニック



#### 診療科目

- ・ 歯科
- ・ 矯正歯科
- ・ 歯科口腔外科
- ・ 小児外科

### Pacific Dental Care



#### 診療科目

- ・ 歯科
- ・ 矯正歯科
- ・ 歯科口腔外科
- ・ 小児外科

### Fukumori Dental Clinic



#### 診療科目

- ・ 歯科
- ・ 矯正歯科
- ・ 歯科口腔外科
- ・ 小児外科

歯科医療従事者へ有益な歯科医療情報を提供するとともに、  
歯科関連企業のマーケティングを支援するプラットフォームです。



DentWave.com

歯科医療従事者会員

49,359名

2023年5月末時点

約5万人のDentwave歯科医療従事者会員と歯科関連企業・製薬メーカーを、オンラインで繋ぎ、歯科医療業界を活性化するためにオンラインのデンタルショーを開催しており、来場者数を増やしております。

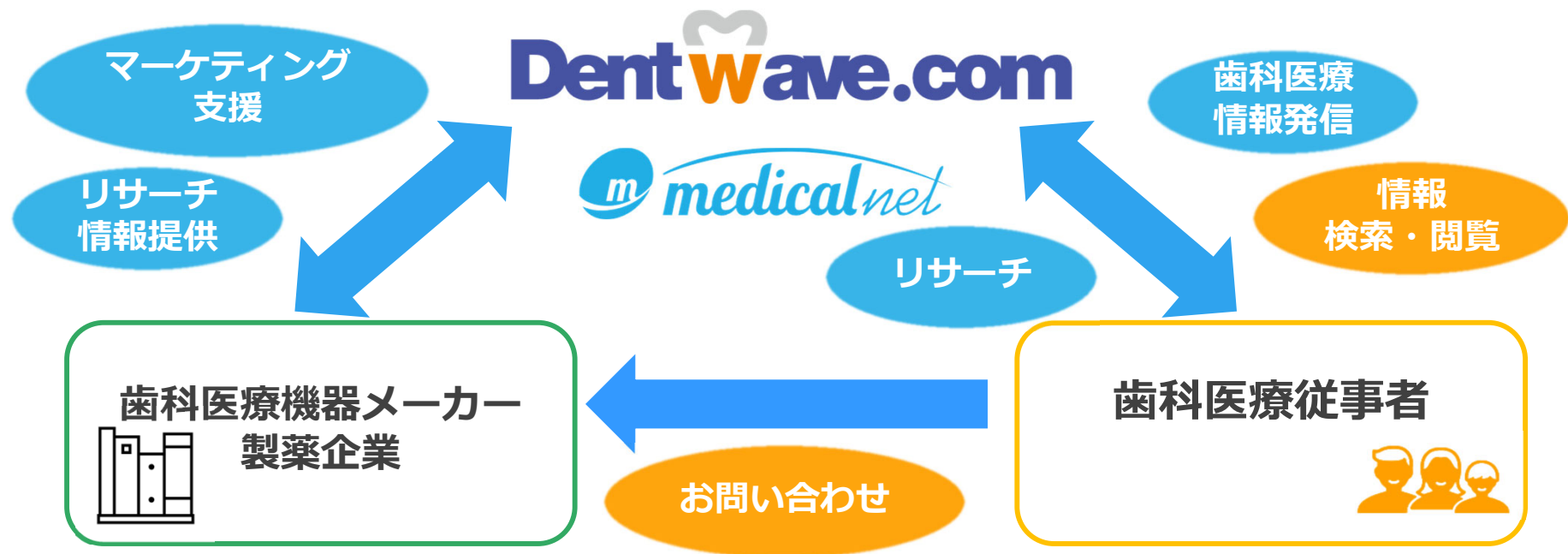
開催期間：2023年5月 出展企業：21社 来場者数：約22,000名



インターネットを活用した歯科医療に関する情報サービスの提供  
歯科医療従事者会員をターゲットにする歯科医療機器メーカー、製薬会社への  
マーケティング支援

国内最大級の歯科医療従事者会員数を持つDentwave.comを、  
歯科医療機器メーカー、製薬企業等を顧客として広告料及び手数料収入を得て運営。

Dentwave.comの歯科医療従事者会員を活かしたリサーチの実施、  
実開催のコンベンション運営、オンラインでのデンタルショーを開催するなど、  
顧客のマーケティングに関するソリューションを提供。





# DentWave.com



Dentwave.comの求人情報は、歯科医師（常勤・非常勤）、歯科衛生士（常勤・非常勤）などの歯科医療従事者専門の就職・転職コンテンツです。

歯科専門の求人情報が掲載されており、全国の求人検索が可能です。

また、就職・転職活動をサポートする就職相談センターや歯科衛生士の転職お悩み相談室があります。

就職相談センター



求職者が安心して就職・転職できるようにサポートする「就職エージェントサービス」です。

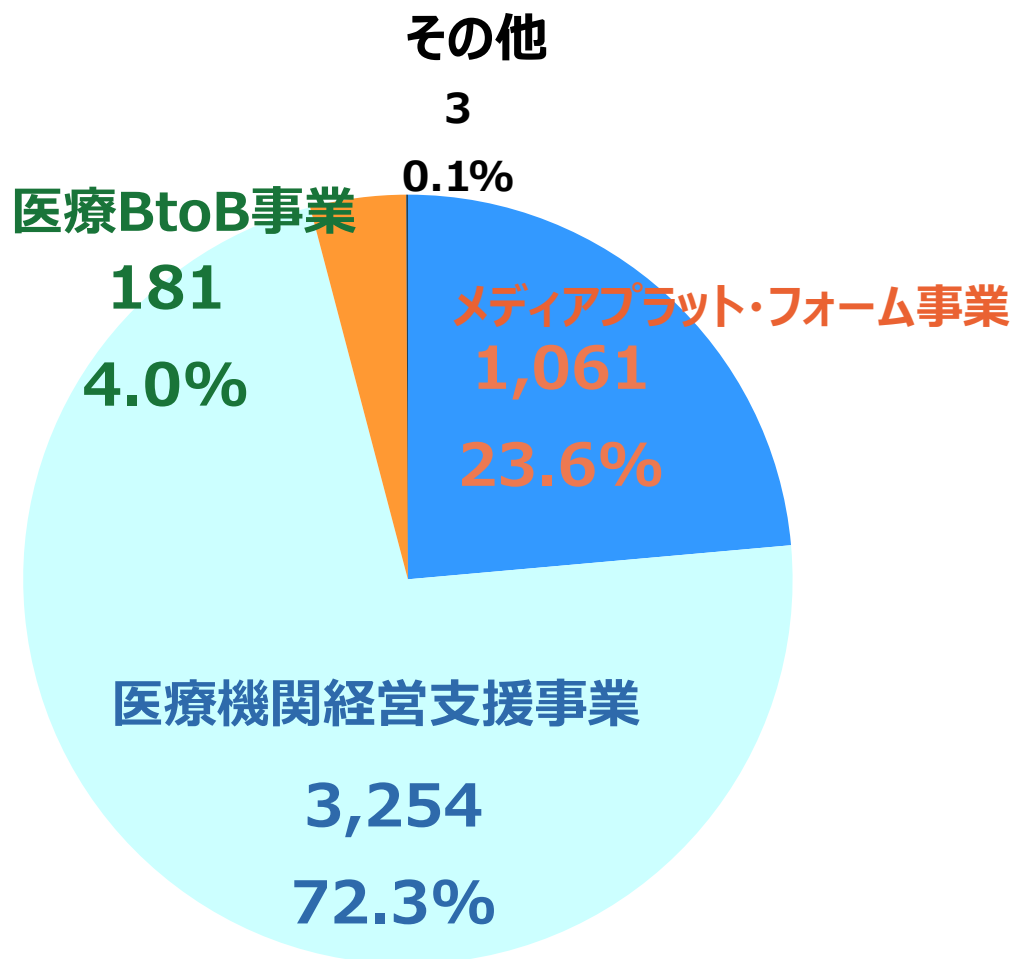
歯科衛生士  
転職お悩み相談室



“転職したいけれど、誰に相談したらいいのかわからない…” など、転職に関するお悩みはなんでもご相談ください。

2023年5月期

(単位：百万円)



## メディア・プラットフォーム事業

- ・インプラントネット
- ・矯正歯科ネット
- ・審美歯科ネット
- ・歯医者さんネット
- ・Ask Dentist

全 61サイトを運営



## 医療機関経営支援事業

- ・不動産 内装外装 機材
- ・集患・増患ソリューション
- ・内装・外装・デザイン・施工
- ・医療機材 (歯科総合商社)
- ・経営・開業支援
- ・事業承継
- ・人材キャリア
- ・医薬品・医薬部外品製造・販売
- ・治療保証



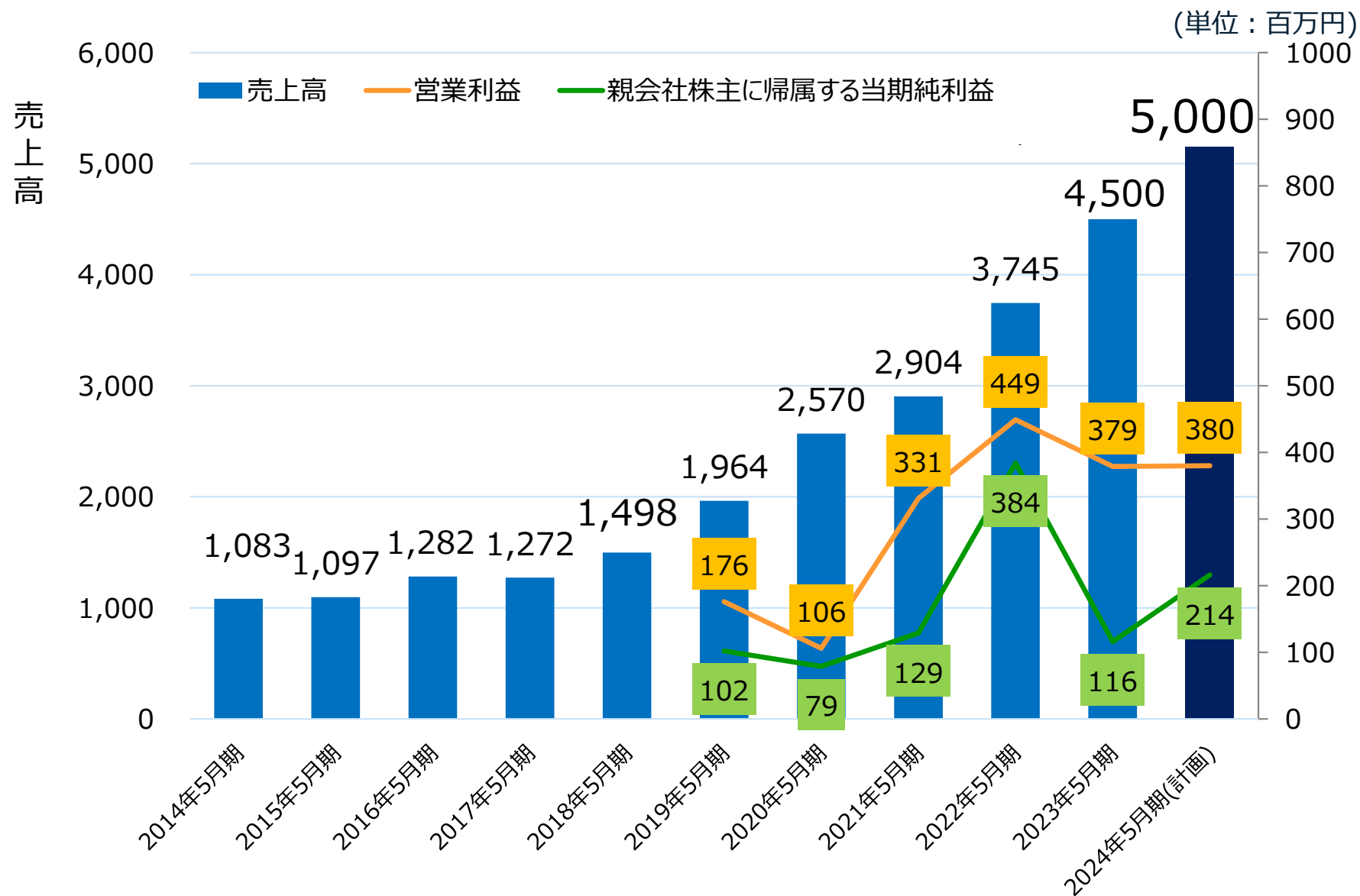
## 医療BtoB事業

Dentwave.com

歯科医療従事者登録数

49,359人

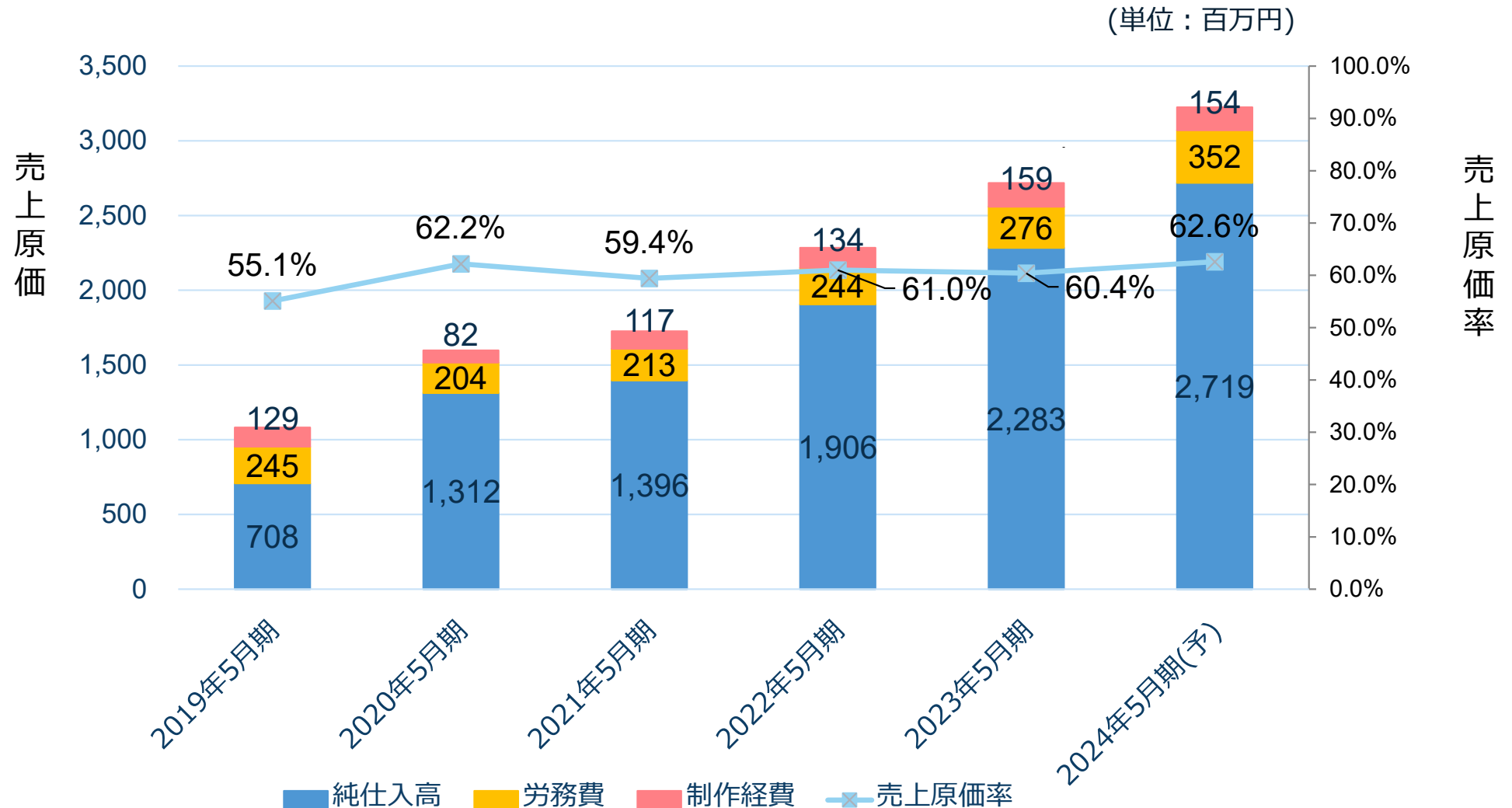
# 売上高・利益の推移



営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益

# 売上原価の推移

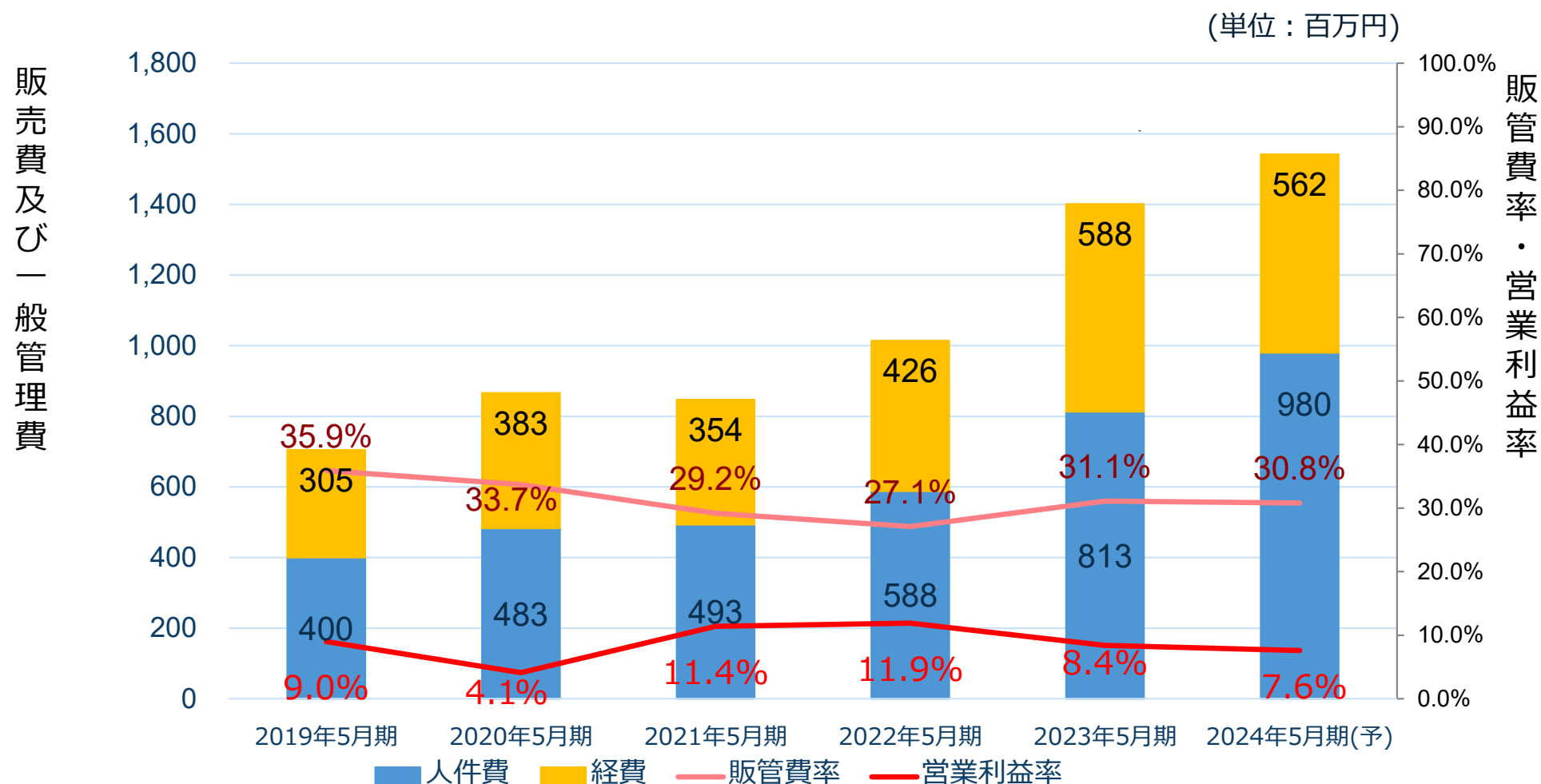
2019年5月期は歯科機材・医薬品販売事業を行う株式会社オカムラを、2022年5月期はノーエチ薬品株式会社を、2023年5月期はNU-DENT Co., Ltd.、D.D.DENT Co., Ltd.、株式会社オカムラOsakaを連結子会社（孫会社）化したことにより、純仕入高が増加、売上原価率が上昇している。



# 販売費及び一般管理費、営業利益率の推移

2018年12月から2022年5月にかけて日本で3社、タイで4社連結子会社（孫会社）化するなど、積極的なM&A戦略で事業拡大を図り人件費は増加しているが、売上高の順調な成長、効率的なプロモーション活動及び固定費を中心とする構造等により販管費率は堅調に改善（35.9%→30.9%）している。

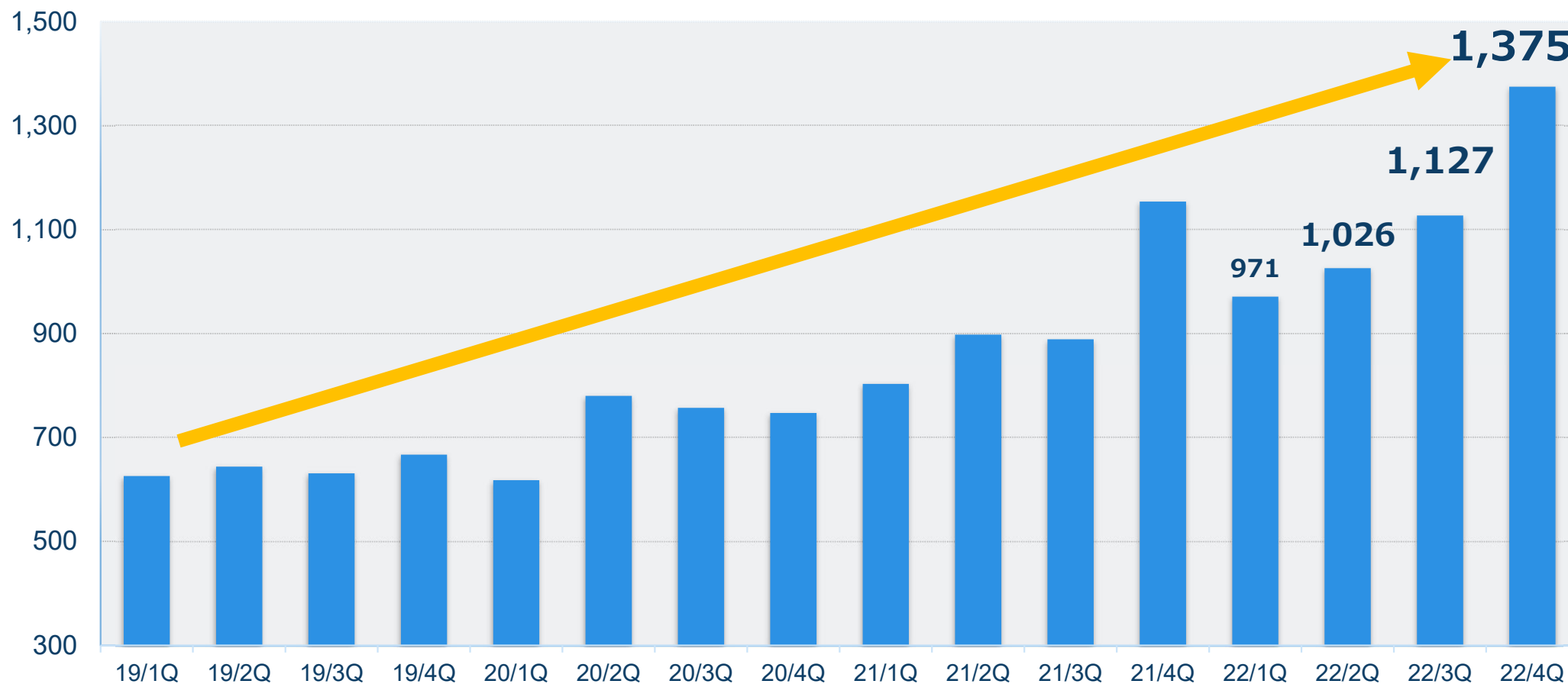
営業利益率は2020年5月期までは投資が先行し、利益率が低下傾向にあったが、2021年5月期より先行投資の効果が出始め、利益率は改善した。成長スピードを加速させるため、2023年5月期はプロフェッショナル人材を採用するなど、将来への投資を積極的に行い、また、2024年5月期も業容拡大に向けた組織体制の強化、新規事業の構築など成長のための戦略的投資を継続するため営業利益率は一時的に低下する見込み。



# 連結売上高 四半期推移



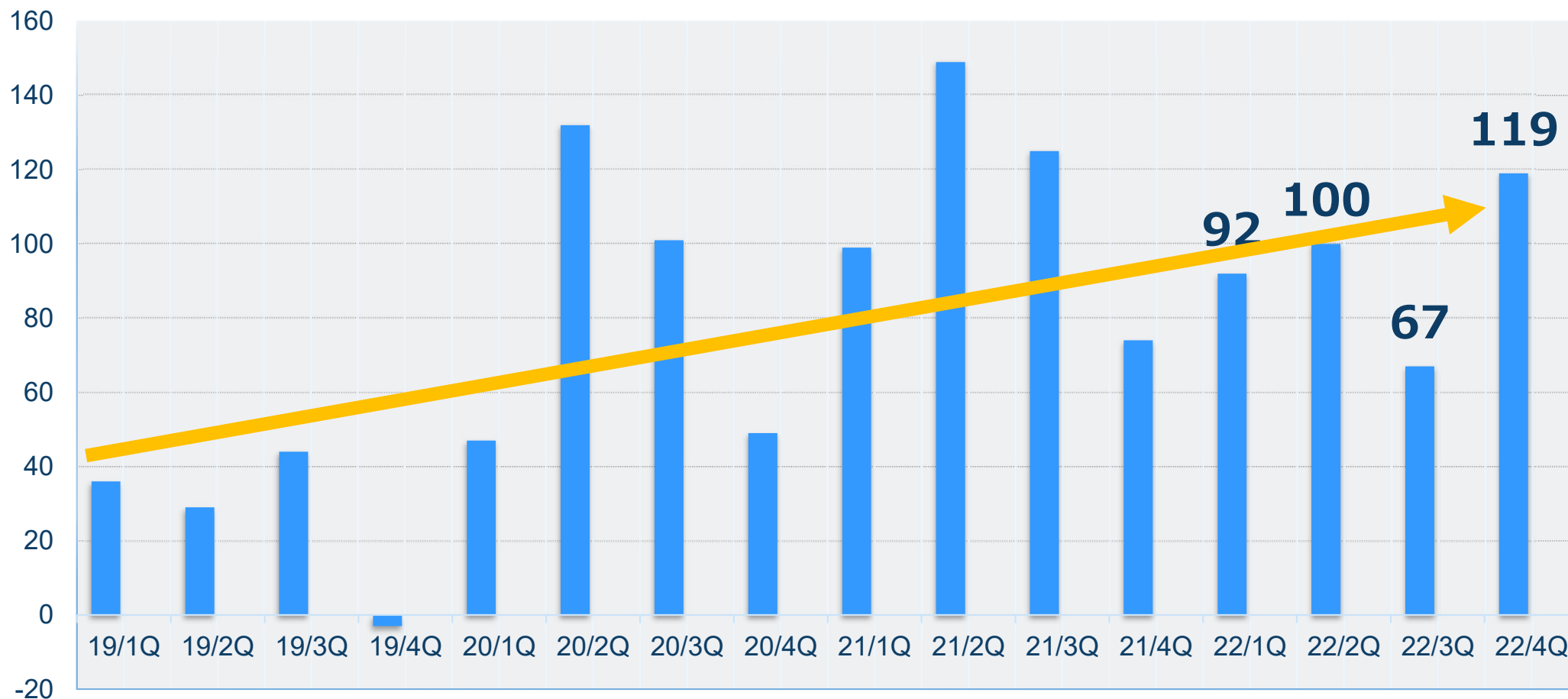
(単位：百万円)



売上は每期好調に推移  
前年同期比（累計）20.2%増

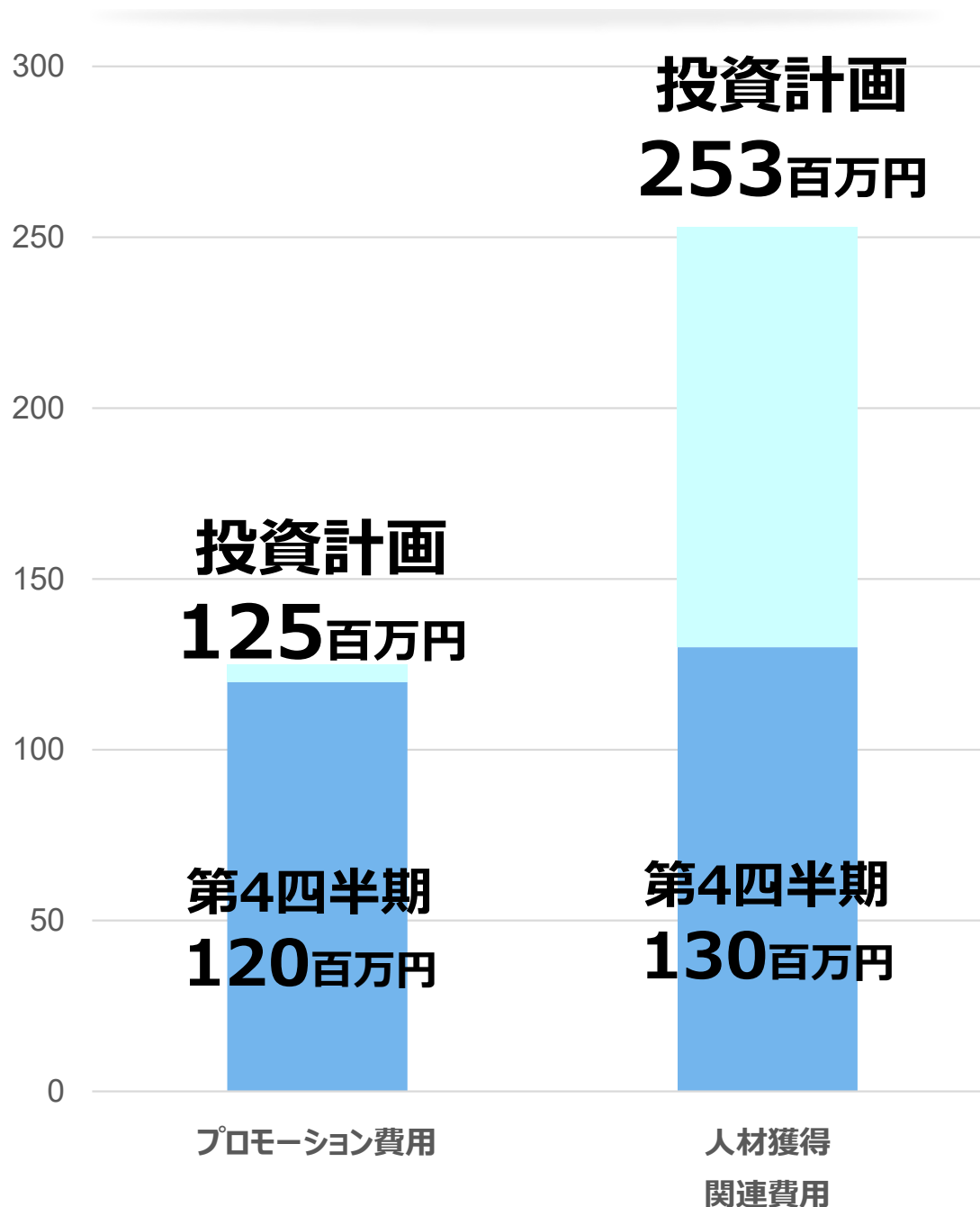
# 連結営業利益四半期推移

(単位：百万円)



## 事業拡大のための投資を加速。

# 2023年5月期の投資計画及び実績



## プロモーション費用 計画比96%

・ブランドの強化、プロモーションの拡充のための広告費を、ほぼ計画どおりに使用した。

## 人材獲得関連費用 計画比51%

中途採用については、計画比+2名の29名採用したが、入社時期の遅れ等があり、新卒採用については、計画比△4名の8名となったことなどから、人材獲得関連費用については、計画を下回った。

## システム関連費用 研究開発費

システム関連費用及び研究開発費については、取組時期、取組内容を見直し、2024年5月期に実施予定。



# 3. 市場環境



メディア・プラットフォーム事業の関連領域は以下のとおりです。

## インターネット広告市場 広告費（2022年） 3兆912億円

インターネット広告市場（2022年） 広告費 3兆912億円（前年比 14.3%増）  
過去5年で2倍となっており、今後もインターネット広告市場は伸長、拡大していくと見込んでいる。

（株式会社電通「2022年日本の広告費」より）

## 歯科診療医療費（2021年）3兆1,498億円

2016年は2兆8,746億円であった歯科診療医療費は徐々に増加しており、  
今後も歯科医療の重要性の高まりから、さらに増加していくと見込んでいる。

厚生労働省「令和3年度 医療費の動向」より

## 歯科診療所（2023年5月）67,281施設

歯科診療所の数は2011年以降68,000施設前後で推移。  
当社の取引先数は約1,000クリニックであることから、拡大の余地は大きい。

（厚生労働省「医療施設動態調査」より）

医療機関経営支援事業（開業支援・経営支援・歯科器材販売）では、以下の領域を対象としております。歯科診療所は約68,000件で推移しているものの、毎年約1,400~1,700件が開業しております。

開業、経営支援、歯科機器・用品の販売それぞれにおいては、不動産事業者、歯科機材の二次卸、税理士事務所、コンサルティング会社等が存在いたしますが、すべてをワンストップで行える当社グループはその強みを活かし、開業から事業承継までサポートすることで事業の拡大を目指します。また、DX化が遅れている当市場において、いち早くDX化を推し進めることにより先行者利益の獲得を目指します。

## 歯科診療所（2023年5月）67,281施設

（厚生労働省「医療施設動態調査」より）

歯科診療所の数は2011年以降68,000施設前後で推移。  
当社の取引先数は約3,000クリニックであることから、拡大の余地は大きい。

## 歯科診療所開設数の推移

（厚生労働省「医療施設調査」より）

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1,702	1,720	1,485	1,451	1,393	1,352

歯科診療所の開設費用は約5,000万円（※当社調べ）必要とされており、2019年の市場規模は約725億円と推計される。  
ワンストップで開業を支援できる当社グループの強みを活かし、事業の拡大を目指す。

## 歯科機器・用品の市場規模（二次卸販売額）【単位：億円】

（株式会社アールアンドディ「歯科機器・用品年鑑2023年版」より）

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年予測
3,470	3,529	3,574	3,667	3,830	4,015	4,100

歯科診療医療費の伸びとともに、歯科機器・用品の市場規模も拡大しており、今後口腔の健康が重視されることにより、更なる拡大が見込まれる。  
当社グループは販売のDX化、M&Aを積極的に進め事業拡大を目指す。

医療BtoB事業では以下の領域を対象としております。

当事業では歯科医療従事者を会員とし、会員向けに歯科医療情報を提供しております。

2023年5月現在の会員数は49,359名と順調に増加を続けております。2025年には歯科医師10万人の8割の約8万人の会員獲得を目指し、歯科医療従事者にとってより有益な情報の提供、より閲覧したくなるサイトの構築を図ってまいります。

同時にこの日本最大級の会員数を活かし、歯科機器・用品メーカーや製薬会社のマーケティング、リサーチを担うことで事業の拡大を目指します。これまで歯科医療業界では紙媒体でのマーケティングがメインでしたが、近年歯科機器・用品メーカー、製薬会社の歯科向けマーケティングはデジタルにシフトし始めており、当社グループがその受け皿となることで事業規模拡大に追い風となっております。

歯科医師数（2020年）107,443名（対前回（2018年）+2,535名 2.4%増 ※1  
 歯科衛生士（2020年）142,760名（対前回（2018年）+10,131名 7.6%増 ※2

2023年5月現在で、Dentwave会員数は49,359名と2023年5月期は9,202名増加しており、歯科医師は2,000名、歯科衛生士は6,000名増加しているが、会員数拡大の余地はまだまだ大きい。また、2021年11月に業務提携を行った日本最大級の歯科医療者向けメディア『1D』を運営するワンディー株式会社との連携をさらに強化し、歯科医療業界のデジタル化の中核を担うプラットフォームの確立を進める。

※1（厚生労働省「令和2年（2020年）医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」より）

※2（厚生労働省「令和2年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況」より）

## 歯科機器・用品の市場規模（メーカー・輸入商社出荷額）【単位：億円】

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年予測
3,360	3,450	3,535	3,620	3,665	3,890	4,030

（株式会社アールアンドディ「歯科機器・用品年鑑2023年版」より）

## 歯科機器・用品の市場規模（国内末端市場規模）【単位：億円】

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年予測
3,920	4,000	4,050	4,145	4,300	4,520	4,680

（株式会社アールアンドディ「歯科機器・用品年鑑2023年版」より）

# 4.2024年5月期 計画



今期も引き続き、成長のために積極的に投資を行う

## 人的投資



- ・ 人件費は対前年22.1%増計画
- ・ 中途29名採用
- ・ 2024/4新卒10名採用予定

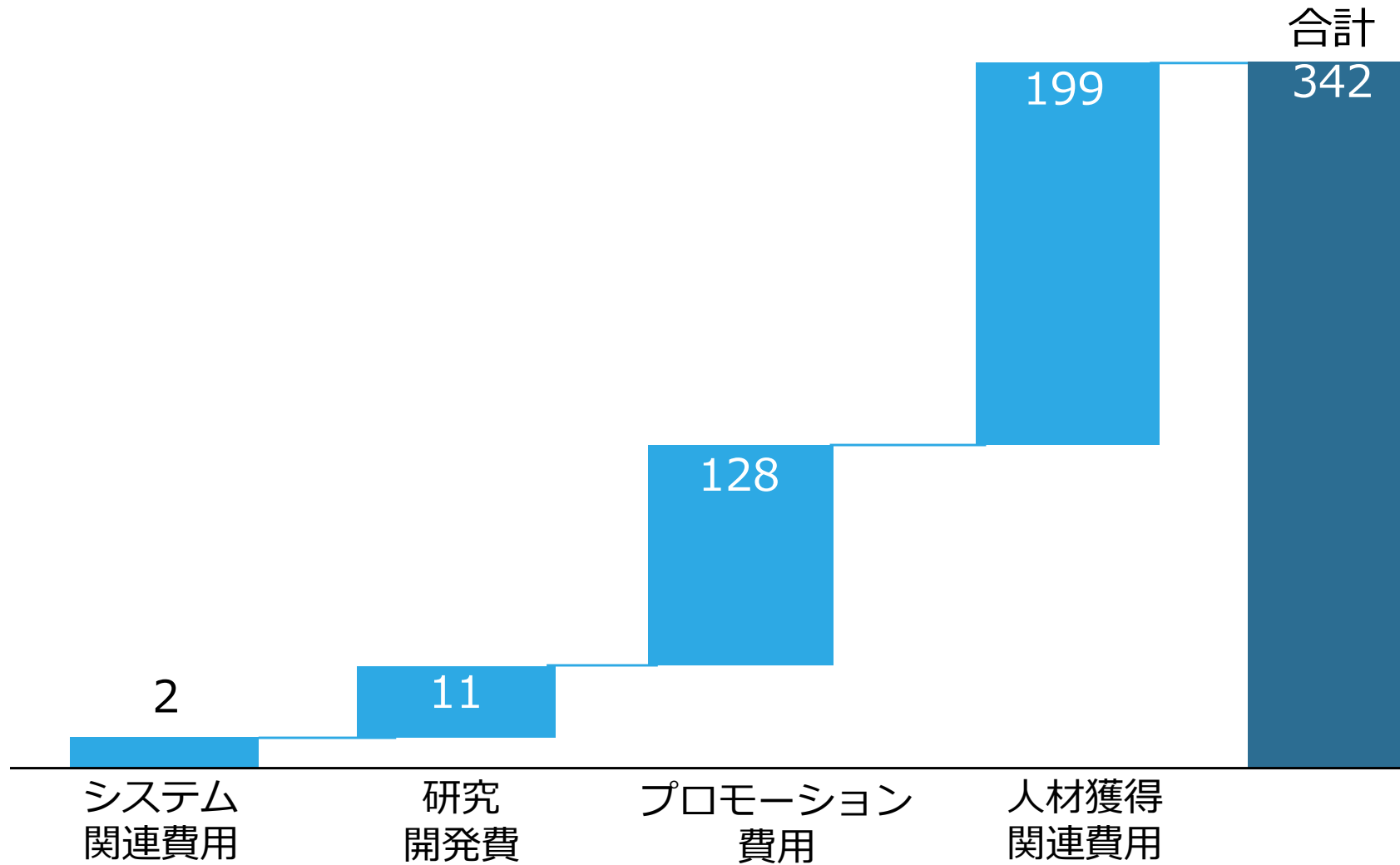
## 事業投資

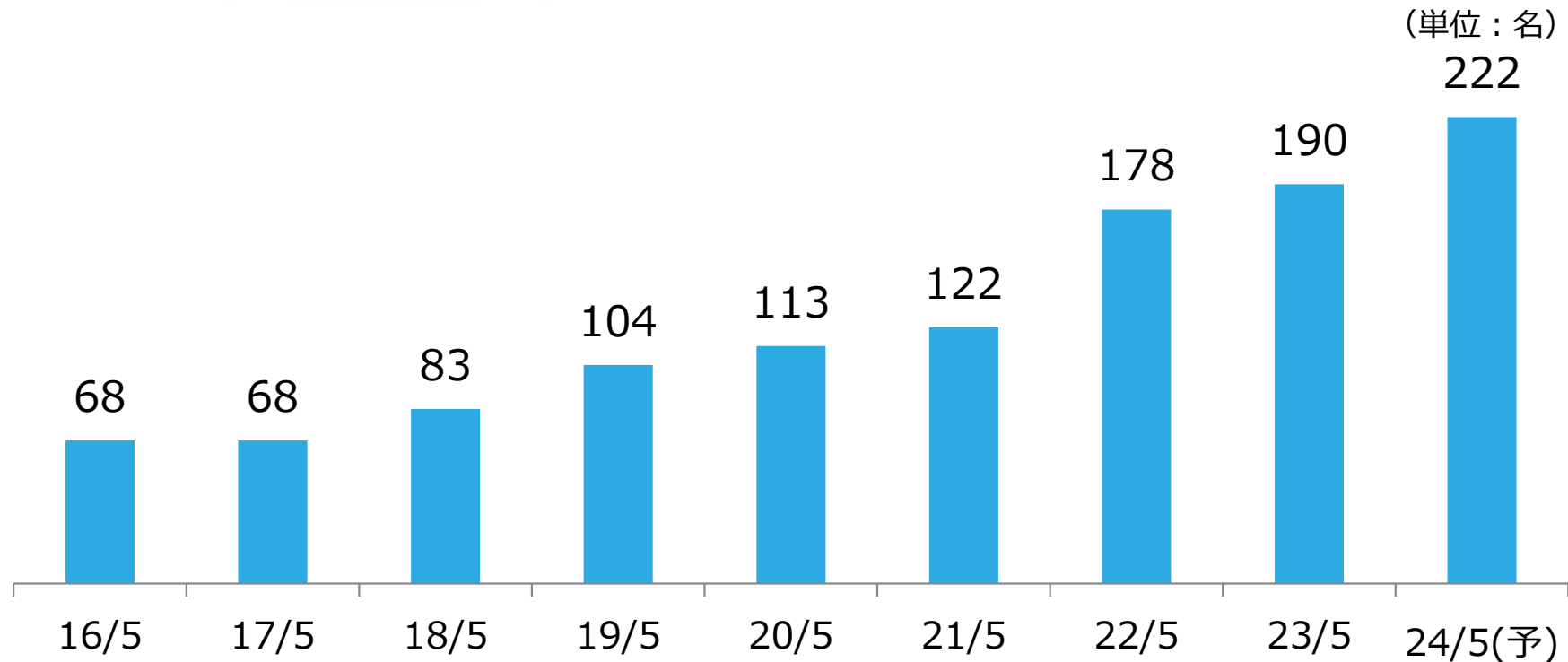


- ・ 新規事業
- ・ 医療BtoB事業のV字回復から更なる拡大
- ・ 歯科事業の海外展開拡大
- ・ 歯科ディーラー事業を拡大
- ・ 医薬品・医薬部外品販売事業のシナジー
- ・ 大学との共同研究

# 成長に向けた2024年5月期の投資

(百万円)





- **2023年5月期は、217名の計画に対し190名となった。**  
中途採用は計画比+2名の29名と計画を上回る採用ができたが、  
新卒採用が計画比△4名の8名となったこと及び計画していなかった退職によるものである。
- **2024年5月期は、新たに新卒や中途を採用し人員数の増加**
- **業容及び事業の拡大を図るための組織体制の強化のため、  
中途で29名採用**



# 5 . 成長戦略



「採用・仲間創り」の一環として、M&Aを積極的に推進していく方針  
口腔周りから全身の健康を導き、笑顔溢れる世界を創るため  
プラットフォーマー戦略を推し進め、歯科医療バリューチェーンの構築



# グループ経営(企業価値の向上について)

グループ入り後、PMIを進め、子会社でもメディカルネットのパーパス・ミッション・ビジョン・バリューの、認識→理解→共感→具象化→実践→習慣化を実現し、またメディカルネットの経営管理方式を導入

子会社の利益率の向上を図るとともに、各子会社はメディカルネットグループの一事業を担う存在として、シナジーを創出

## 経営管理方式の導入

---

感覚による経営



数値を重視した  
経営管理体制

## 子会社利益率の向上

---

シナジーの創出

## ① 競争力維持の源泉：参入障壁となる歯科クリニックの特質

当社グループの最大の顧客である、歯科クリニックはほとんどが個人事業主であり、事務局や医局に決裁権者がいる病院と異なり、決裁権者は歯科医師の先生となります。先生がクリニックにいる時間は診療中であり、先生との商談の機会は、治療前・昼休み・治療後の時間に限られるため、飛び込み営業の機会が大きく制限されております。また、歯科医院経営者が主に富裕層であることから、大量に来る営業を一括して断っている場合もあります。

歯科業界での知名度と実績を持つ当社グループは、このように営業が困難な歯科クリニックへのアプローチが可能です。

現在は既存顧客に対するきめ細やかな対応でのフォローを重視しております。今後の新規事業において事業領域を拡大させた際にも、この参入障壁は有効に発揮され、当社グループは歯科クリニックを中心とした事業展開における模倣困難性を享受することができます。

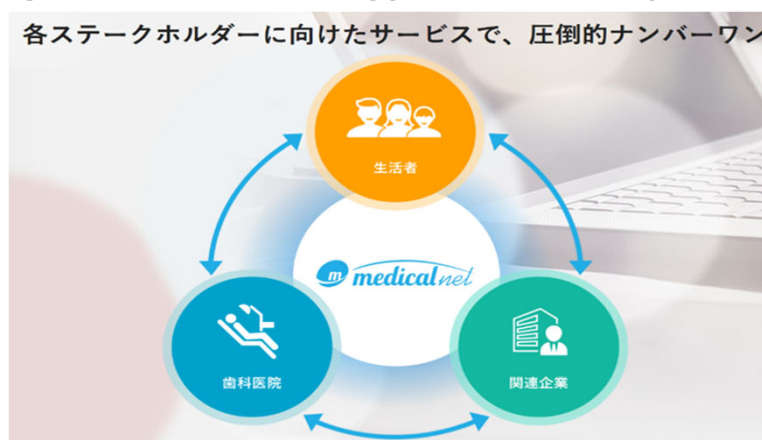
## ② 競争力維持の源泉：歯科に特化したデジタルトランスフォーメーションカ

すでに詳細に説明してきたように、創業以来インターネット領域での事業を展開してきた当社グループは、歯科クリニックの医療行為、業務、歯科取引慣行に精通したホームページ作成やWebマーケティングの部分で強みがあり、歯科に特化したデジタルトランスフォーメーションカにおいて、創業以来現場で積み重ねてきた情報集積やノウハウがあります。

これらの強みは、大手IT企業や、一般医療に強いIT企業でも容易に模倣することはできません。以上の2つの競争力維持の源泉は、長期的にも模倣することは困難であると考えております。

今後も、生活者・歯科医院・歯科関連企業を結ぶプラットフォームを構築する唯一無二の企業であり続けることを目指します。

### メディカルネットグループの強み~歯科医療において圧倒的ナンバーワン



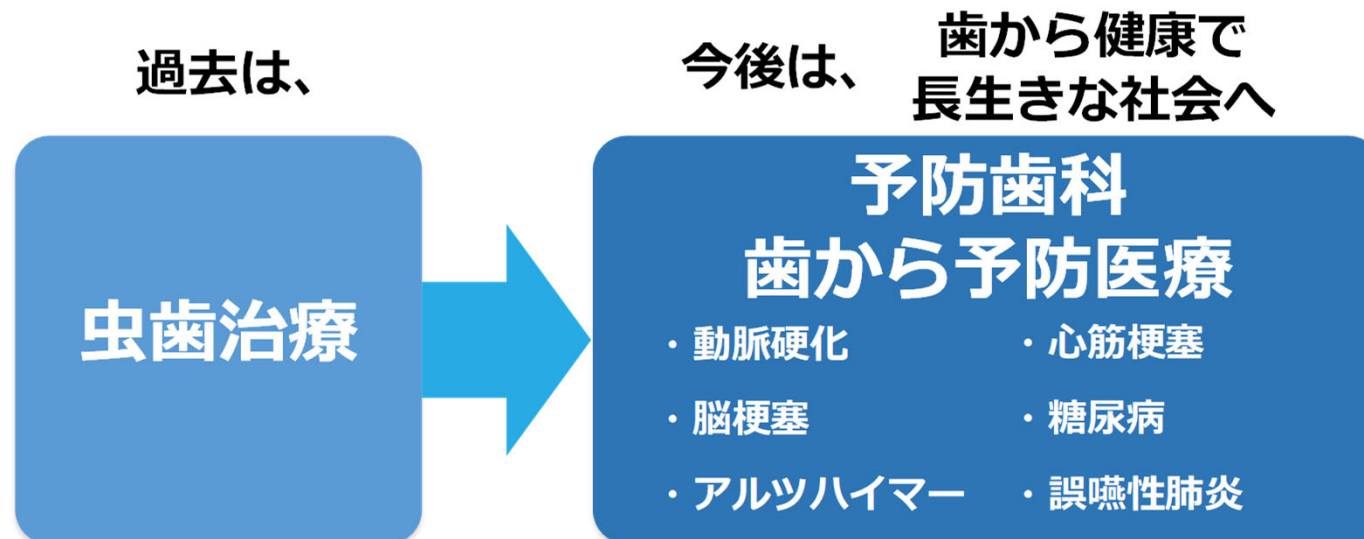
### ③ 外部環境：歯科業界の変化

歯科業界では、歯科医療の、「虫歯治療中心から、予防歯科・歯から予防医療」への変化が起きると予想され、内閣による経済財政運営と改革の基本方針の中で2017年において初めて、疾病予防・重症化予防の中で、歯科検診の役割が言及され、下記に示したように、2019年においては更に踏み込んだ内容が盛り込まれました。

この変化が今後5年で本格化することが、目指す姿を実現するための外部環境の要因として重要なものになります。

経済財政運営と改革の基本方針2019からの抜粋

「口腔の健康は全身の健康にもつながることからエビデンスの信頼性を向上させつつ、国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診、フレイル対策にもつながる歯科医師、歯科衛生士による口腔健康管理など歯科口腔保健の充実、入院患者等への口腔機能管理などの医科歯科連携に加え、介護、障害福祉関係機関との連携を含む歯科保健医療提供体制の構築に取り組む。」



当社グループは、2025年5月期において、①歯科医療プラットフォームビジネスのNo.1の地位の強化、②新領域のプラットフォームの育成、③歯科医療事業の海外での上場を軸にしたアジア展開、という三つの施策を推進するために、三つのケイパビリティの対象領域を拡大します。三つのケイパビリティの対象領域の拡大と三つの施策の関連性は以下の図を御覧ください。

これらの施策により、新領域として、「予防・未病プラットフォーム事業」を産業化し、また、領域拡大として「東南アジアでの歯科事業」を推進することを目指します。これにより、医療機関は、自由診療中心の歯科クリニックが中心でしたが、より幅広い歯科クリニックを対象に事業拡大を推進することが可能となり、当社が持つ無料も含めると約5万の歯科医療関係者の会員基盤をベースにこれまでとは次元の異なる売上成長を追求していきたいと考えます。

	三つのケイパビリティ	これまでの対象	これから拡大していく対象
I.	インターネットにおいて産業未成立の領域を探求する能力	自由診療をおこなう歯科クリニックのインターネットマーケティングを産業化	新メディア 「予防・未病プラットフォーム」
II.	専門性を追求する能力	主に、口腔周りの健康について、歯科クリニックと生活者の両者が利用可能な情報サイトを拡充	口腔周りから始まる健康寿命増進に関する情報サイトを拡充
III.	産業化した領域を拡大する能力	情報メディアを軸に歯科クリニックと歯科関連企業をつなぎ広告ソリューションで歯科関連企業を支援	「東南アジアでの歯科事業拡大 および歯科医療バリューチェーンの構築」 「不動産販売」
	三つのケイパビリティによる売上の源泉となる顧客・地域	自由診療中心の歯科クリニック 歯科関連企業 日本	自由診療以外の歯科クリニック 一般医療機関・医療関連企業 東南アジア

## 口腔周りから始まる健康寿命増進プラットフォームビジネスNo.1

- ① 歯科医療プラットフォームビジネスのNo.1の地位の強化
- ② 新領域のプラットフォームの育成
- ③ 歯科医療事業の上場を軸にしたアジア展開

2025年5月期 売上高10,000百万円・営業利益率10%

## 新領域①：「予防・未病プラットフォーム」

### 口腔から全身の健康を導くための新メディアを立ち上げ、 未病検知 & 疾病の早期発見を啓蒙し、口腔まわりから全身の健康を導く

メディア・プラットフォーム事業においてより幅広い健康増進のための情報提供を行うサイトを展開しておりますが、さらに「口腔周りから始まる健康寿命増進プラットフォームビジネスNo.1」の地位を目指すために、地域のおすすめ歯科医院を紹介するキュレーションメディアを立ち上げ、多くの生活者へ有益な情報を無料で配信し、患者様にとって適した誘導を行っております。

新メディアでは、病気で不安な患者様へ治療方法や病気の症状や特徴・原因などを医師監修のもと解説した記事や、口腔周りから始まる健康増進をテーマとし、インフルエンサーを通じて多くの生活者へ予防意識や医療知識を意識し実行動へ導くコンテンツなど健康な社会実現に向けた啓蒙活動及び情報提供を行います。

また、それらと同時に、2015年以来資本業務提携している広島大学発のベンチャー企業、株式会社ミルテルが持つ唾液や血液から、染色体の最末端部分のテロメア1本鎖DNA配列（Gテール）の長さを測定する世界オンリーワンの技術を用いた未病検知検査「テロメアテスト」や「がんリスク検査」を、これまで培ってきた歯科事業の基盤と新メディアを活かし、歯科クリニックで行える唾液を利用したDNA検査やがん検査、デンタルセンサーを利用した予防・未病プラットフォーム事業の立ち上げを新メディアの成長と並行して、実用化へ進めてまいります。

### ミルテルの概要とメディカルネットグループにとっての意義

会社概要	
社名 株式会社ミルテル 代表取締役社長加藤俊也	設立 2012年9月 資本金 95百万円(2023年5月現在)
主要サービスと今後の展望	
唾液や血液から疾患の早期発見や未病状態を測定する2つの検査を展開	
テロメアテスト	がんリスク検査事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 染色体の最末端部分のテロメア1本鎖DNA配列（Gテール）の長さを測定する世界オンリーワンの技術を用いた未病検知検査</li> <li>● 「老化が原因の疾患にかかりやすい体質なのか？」「健康な状態なのか？疾患発症の状態なのか？」という未病状態を知るための検査</li> <li>● テロメアテストを受ければ、「遺伝子疲労度」をモニターしながら医師がアドバイスをを行うことで、疾患にかかりにくい状態を維持でき、適切な予防や対策により健康長寿が目指せる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 唾液中のポリアミンを測定するポリアミン検査を用い、チューリッヒ保険付帯検査、B2H、B2Cへ事業フィールドを拡大</li> <li>● 新たながんリスク検査として、血液中のタンパク質をターゲットとする日本医科大学の知財及び共同研究結果知財をベースにしたO-LINKを用いた検査の上市を計画</li> </ul>
<p>メディカルネットグループとミルテルは口腔領域における唾液や口腔粘膜などの臨床検体等を利用した未病・疾患早期発見を目的とした検査等の歯科領域における事業を企画・開発し、当社が独占的に販売</p>	

## 口臭センサーによる疾患リスクの検査技術の開発

当社グループは、口臭の臭気と特定の疾患の因果関係の特定する検査技術を岡山大学と共同で研究し、岡山大学と共同（持ち分割合は岡山大学とメディカルネットが50：50）で特許を取得いたしました。当社グループの戦略としては、さらに唾液や臭気と特定の病気の関連性等の研究を進め、将来的にはデンタルセンサー（常時、歯にセットするタイプ）により予防・未病まで結び付けてからの商業化を考えております。口臭の原因については、う蝕、歯周疾患、唾液分泌量の低下、口腔内細菌叢の変化など様々な原因が知られておりますが、現状普及している口臭検知装置等では、臭気発生の原因を特定することもまた不可能であり、こうした現況下では、口臭に対する治療のほとんどが、口腔全体に対する清掃処置となり、局所的な臭気発生源に対する原因除去処置が行われない状態にあります。岡山大学と共同で開発している技術は、局所的な臭気を取得し、臭気発生部位を特定し疾患との因果関係を特定し、予防・未病に貢献するものと考えております。

以上のような技術を含め、幅広く、口腔周りの医療技術に関連した検査技術及び歯科の予防・未病の医療サービスの向上に貢献する技術を中心に、総合的に予防・未病に関連する医療技術を支援するプラットフォームを立ち上げていきたいと考えております。

従来の歯科医院の仕事は、自由診療であっても、インプラントや矯正など、あくまで歯科領域に限られていました。しかし、唾液での検査が可能になると、保険診療を主とする歯科医院であっても、新たな領域での仕事が可能となります。現在、DNA検査の需要が高まり様々な検査キットが販売されておりますが、医療機関での検査であるため信用面での差別化が見込まれます。また、血液を利用した検査と比較して安価であることから、DNA検査の更なる普及が期待されます。これらの理由から、唾液センサーを利用したDNA検査には飛躍的なトレンドを見込むことが出来ます。同時に、歯科医院における自由診療の幅が広がるので、クリニック間の差別化を図ることも可能となります。こうした流れは、「口腔周りから身体全体の健康へ」、つまり人々の健康を支えていくことに、歯科医院が大きな役割を担っていくことを意味しております。

## 新規歯科医療用装置の開発

当社は、歯科業界における新規歯科医療用装置の開発に向け、岡山大学と共同研究契約を締結し、研究開発を進めております。

当社としましては、共同研究開発を通し、歯科業界における自由診療の手段を拡大させ、保険診療を主とする歯科医院であっても新たな領域でより患者さまへ貢献できる姿を目指しております。また、本研究開発を経て、当社が目指す「口腔周りから身体全体の健康へ」という世界へ少しでも近づくよう、業界内の解決が困難である課題への挑戦してまいります。

例えば、「口」は咀嚼・嚥下機能だけでなく、呼吸や発声等の役割もありますが、咀嚼・嚥下・呼吸・発声等の機能は口腔内の状態に基づいた「正しいフォーム」はあまり言及されてきませんでした。歯科医師側においては、多様な治療方法の存在を踏まえると、本来の意味で「正しい治療方法」は存在しないため、治療した結果たまたま医療過誤に陥ってしまうケースもあります。

このように今は見ることができず、解決が困難な課題を見えるようにし、より適切な「正しい」方法を模索・実現していくことを目指し、研究開発を推進してまいります。



## 業界初の口腔内カメラを活用した歯科向けオンライン診療サービス提供に向けた株式会社アイリッジとの提携

スマートフォンを活用し、企業のO2O(OnlinetoOffline)/(OnlineMergeswithOffline)を支援している株式会社アイリッジとの業務提携により、歯科向けの口腔内カメラを活用したオンライン診療サービスの共同開発と展開を進めます。日本歯科医師会の調査委によると歯科疾患と体の病気との関連への意識は高まっているものの、矯正治療において費用面以外に器具の見た目や痛み、通院の負担が障壁となりやすいと分かってきました。口腔内カメラを活用したオンライン診療サービスでは、事前に歯科医院から患者に提供される歯科用口腔内カメラとスマートフォンによるビデオチャットを活用しリアルタイムに診察を行える業界初のサービスです。

今後は非リアルタイムで医師に相談出来るサービスも予定しており、診察の必要性や患者の健康状態について医師が一般的な回答・アドバイスを行い、来院頻度の低下や感染症の拡大防止に効果あると考えております。

## オンライン相談プラットフォームの開発

矯正治療を検討している患者さまに対し、オンラインで初診相談が完結するサービスの提供を目指し、実証実験を進めております。

厚生労働省「平成29年・令和2年患者調査」歯科診療所の推計患者数によると、平成29年の矯正初診患者数は1日あたり800名でありましたが、令和2年では2,900名へ急増し、3年間で矯正初診患者数が3.6倍となっております。特に医科では、オンライン診療・相談が進んでいる印象がありますが、このような市場環境においては当社が率先して課題解決を進め、より歯科業界の活性化を目指してまいります。

初診相談のオンライン化を経て、今後は、一般相談～再診までを全てオンラインで完結するプラットフォームサービスの開発を検討し、患者さまがお住まいの地域を問わず、全ての生活者に平等な歯科治療の提供ができるよう取り組みを進めております。

## 新領域②：不動産販売事業

### 歯科医師個人のライフサポート

当社グループは「歯科医師が歯科医療に専念できる環境を創る」という目的のもと、患者により良い歯科医療を提供していただくために歯科医師の先生方が診療に集中していただけるよう、治療以外の歯科医院経営に必要な業務を担う「事務代行サービス」や開業から集客までワンストップで行える「開業支援サービス」「経営支援サービス」を展開しております。

上記に加え、当社グループのこれまで長く歯科医院の経営に関わってきた実績や経験から、歯科医師個人のライフスタイルサポートも必要だと感じ、歯科医師のプライベートに関する課題解決をサービス化し不動産販売事業を開始いたしました。

多忙な日々の医療現場においては、考えなければならないこと、やらなければならないことに追われ、歯科医師は一般の人よりも「お金」や「ライフプラン」まで考える余裕がありません。そんな歯科医師がリタイア時期を迎えたとき、リタイアメントライフプランに課題を抱えることが非常に多いことも事実としてあります。

歯科医院の経営について詳しい当社グループだからこそ、定年のない開業医の悩みやライフスタイルに寄り添い、多忙な歯科医師のために様々な提案・対応を行うことができます。

当社グループは歯科医院の課題解決から、歯科医師個人の相続や引退後のライフプランニングなどプライベートな課題解決まで幅広く対応いたします。

当社グループが持つ約5万の歯科医療関係者の会員基盤をベースに、これまでとは次元の異なる売上成長を追求していきたいと考えます。そして、歯科医師が歯科医療に専念できる環境を創ることで、「口腔周りから全身の健康に寄与し、笑顔を増やす」という当社が目指す社会の実現にもつながっていくと考えております。

## 新領域③：歯科医療向け納品プラットフォーム事業

連結子会社である株式会社オカムラで取り組んでいる、歯科ディーラーと歯科クリニックのアナログ中心の取引をデジタル化するクラウドベースの歯科医療向け納品プラットフォーム事業を立ち上げて、取引の効率化を歯科ディーラーと歯科クリニックに提供し、双方にとって価値のあるデジタルトランスフォーメーションを事業化してまいります。

株式会社オカムラにおいて歯科医療に利用される20万点もの各種機材、材料についてデジタル化を視野に入れ、これらを対外的に開放することで、幅広く歯科ディーラーと歯科クリニックとの間の取引の効率化をはかります。

取引額では潜在的に約4,600億円程度（※当社調べ）存在し、一定程度のシェアで、2%程度のマージンが取れば、大きな成長力が潜在的にあると考えております。

## 既存領域で特に拡大していく取り組み：医療BtoB事業/タイでの歯科医療事業

さらなる成長を当社グループが追求するには、歯科医師に対して、消費と事業の双方で、サービス・商品を提供しているBtoB分野を拡大することが重要です。歯科医師をターゲットにした消費サービスや、歯科クリニックが利用する数十万点にわたる医療機器・器具・医薬品・技工材料を収める卸業者を支援するプラットフォームを立ち上げることや、海外進出がカギになると考えます。

現在、112社がBtoBの取引先ですが、これをいかに広げるのが重要な視点となります。

また、日本の高度な歯科医療技術と、タイでの歯科医院経営をベースに海外においても歯科医療プラットフォームの構築することも領域拡大において重要な視点となります。

タイにおいては、2022年3月に歯科商社事業を行っているNU-DENT Co., Ltd.、D.D.DENT Co., Ltd.を連結子会社（孫会社）化、新たに事業を開始し業容を拡大しております。

これを端緒としてタイの歯科医療プラットフォームの拡大を図ってまいります。

**上記の取組みを推進していくために、当社独自のサービス開発、既存事業との連携を図っていくとともに、積極的なM&A戦略もとってまいります。**

**そのための資金調達としては自己株式の活用、銀行からの借入等を検討してまいります。**

# 目指す姿のイメージ

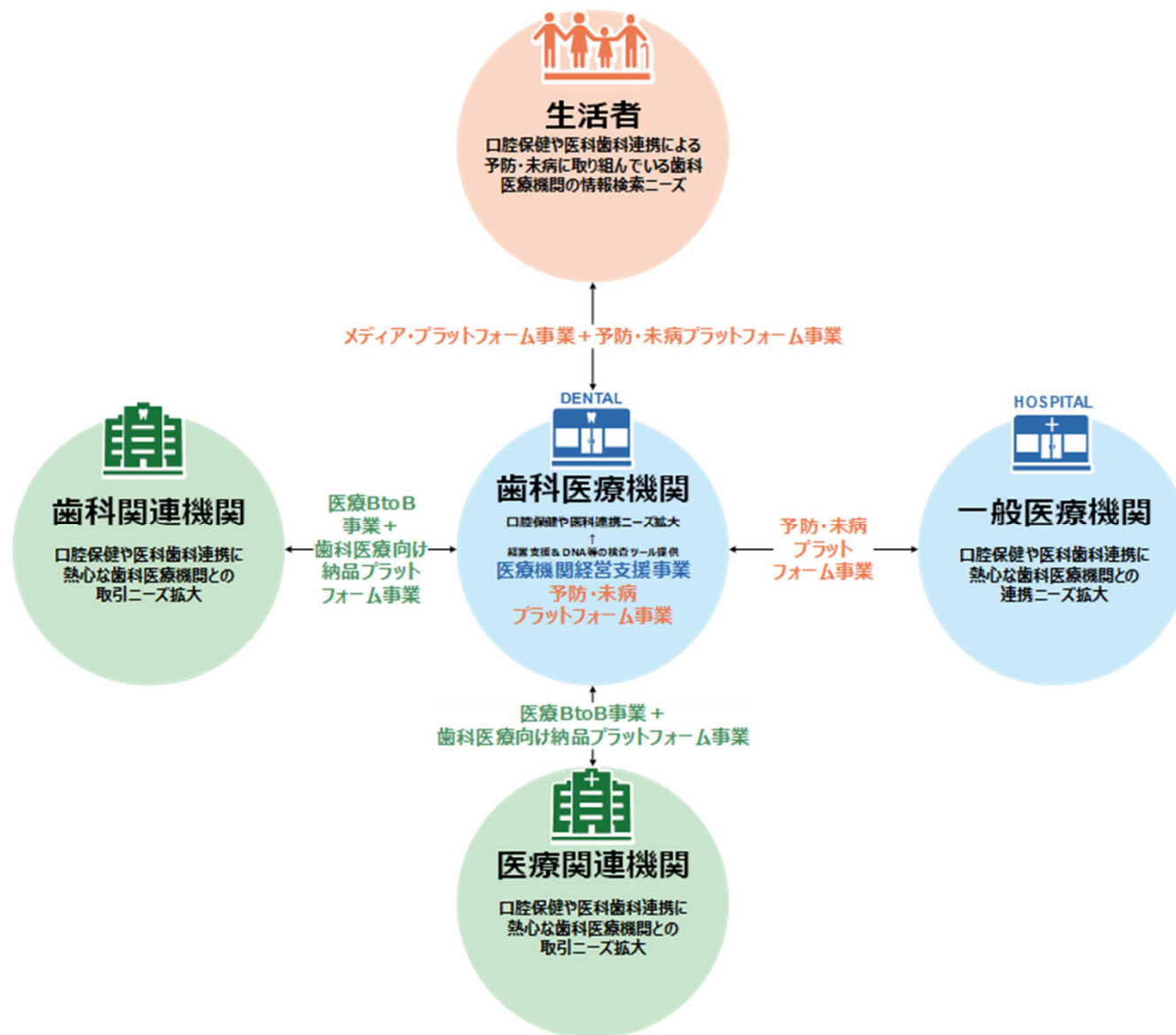
これまでの事業と新たに取り組む領域をあわせて、情報領域だけでなくリアルチャネルにも進出し、「口腔周りから身体全体の健康へ」を実現する口腔周りから始まる健康寿命増進プラットフォームの構築にも励んでまいります。

それを総合的に俯瞰した表が右の表です。

三つの ケイパビリティ	<b>口腔周りから始まる 健康寿命増進プラットフォームビジネス No.1</b> 「口腔周りから全身の健康へ」 歯科クリニックを中心とした健康産業革命を総合的に支援		
<b>I. インターネット において 産業未成立の 領域を 探求する能力</b>	新領域： 歯科医療向け納品プラットフォーム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔周りから始まる健康寿命増進を進める上で今後拡大する多様な歯科医療器具・治療などを6万件の歯科クリニックに販売していく</li> <li>営業・販売を行うディーラーと「共生・共栄」しつつ、歯科医院と結ぶバリューチェーンプラットフォームを形成</li> <li>関連会社や自社のサービスも、メディカルネットの情報プラットフォームを活用して普及活動</li> </ul>	歯科医療及び歯科医療を る各種関連産業において、 科業界のバイオコアとして、 科クリニックを中心とした健康 業革命を推進する新たな命 に参画し、健康と生活を向
<b>II. 専門性を 追求する能力</b>	新領域： 予防・未病 領域事業	予防・未病領域で新メディア立ち上げ ・口腔まわりから全身の健康を導く ミルテルの未病・予防検査 ・疾患リスクの見える化を可能にするDNA検査等を唾液でも検査可能に ・唾液によるがん検査を可能に <u>産学連携</u> ・口臭センサーを利用した臭気発生部位の特定と疾患の特定が可能に ・新たに歯科医療用装置開発し課題解決アイリッジと共同開発 ・歯科医療における遠隔診療促進	今までの歯科医師の業務 え、健康医療革命を起こし 活者・歯科医療機関・歯科 連企業の全ての幸せを向
<b>III. 産業化した領域 を拡大する能力</b>	メディア・ プラットフォーム事業 の強化  「口腔周りから全身 の健康へ」をテーマ に歯科クリニック・健康 産業の集客力を拡大	産学連携 ・口臭センサーを利用した臭気発生部位の特定と疾患の特定が可能に ・新たに歯科医療用装置開発し課題解決アイリッジと共同開発 ・歯科医療における遠隔診療促進	今までの歯科医師の業務 え、健康医療革命を起こし 活者・歯科医療機関・歯科 連企業の全ての幸せを向
<b>III. 産業化した領域 を拡大する能力</b>	医療機関経営 支援事業の強化	歯科クリニック・関連企業の支援強化 ・健康産業革命の推進や、自由診療を行う歯科クリニックのみならず、幅広く関連する健康寿命増進産業の経営支援・差別化・集客を総合的に支援 自社ディーラーの強化 ・デジタルトランスフォーメーションの力を活かす ・歯科用品のデリバリーのシェア・展開地域を拡大 ・PBの商品を、より幅広く取り扱うことで価格競争力を高める ・積極的なM&Aで規模拡大を目指す	日本の最新ノウハウ及び健康 医療革命を支援する力を グローバルに展開
<b>III. 産業化した領域 を拡大する能力</b>	医療機関経営支 援事業の強化	タイにおける歯科医院経営事業 ・タイの制度に則したマーケティングを確立 ・タイから東南アジア、さらにアフリカまでを目指し、経営拡大を狙う ・富裕層や現地の日本人をターゲットに ・マーケティングノウハウを活かしたクリニック運営 ・タイの成功を起点に東南アジアへ展開 ・日本で進む「口腔周りから全身の健康へ」の動きの最新のノウハウをグローバル展開へ 不動産事業拡大 ・歯科領域の顧客基盤を活用し事業拡大	日本の最新ノウハウ及び健康 医療革命を支援する力を グローバルに展開

# 目指す姿のイメージ

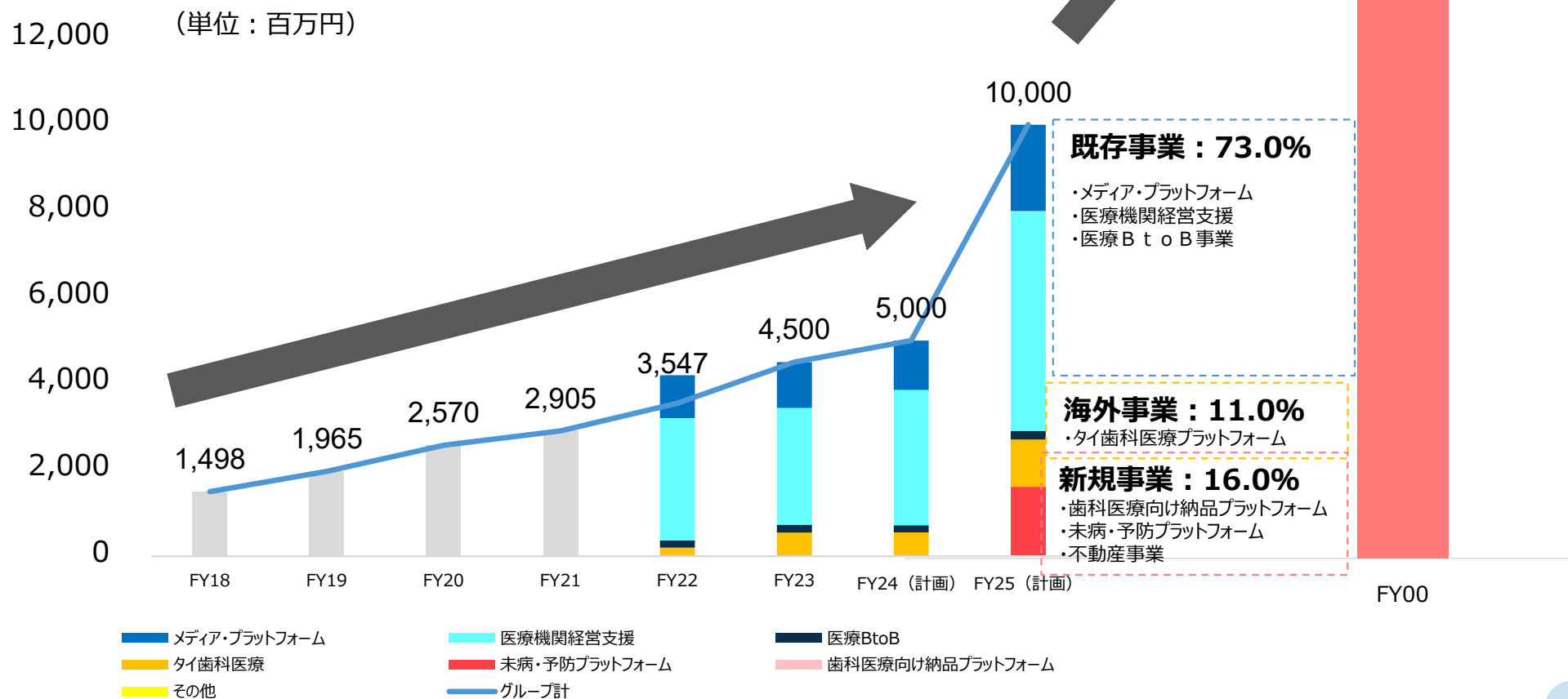
これらにより、歯科医療関連以外にも事業が拡大し、取引、経済圏がひろがるものと考えます。



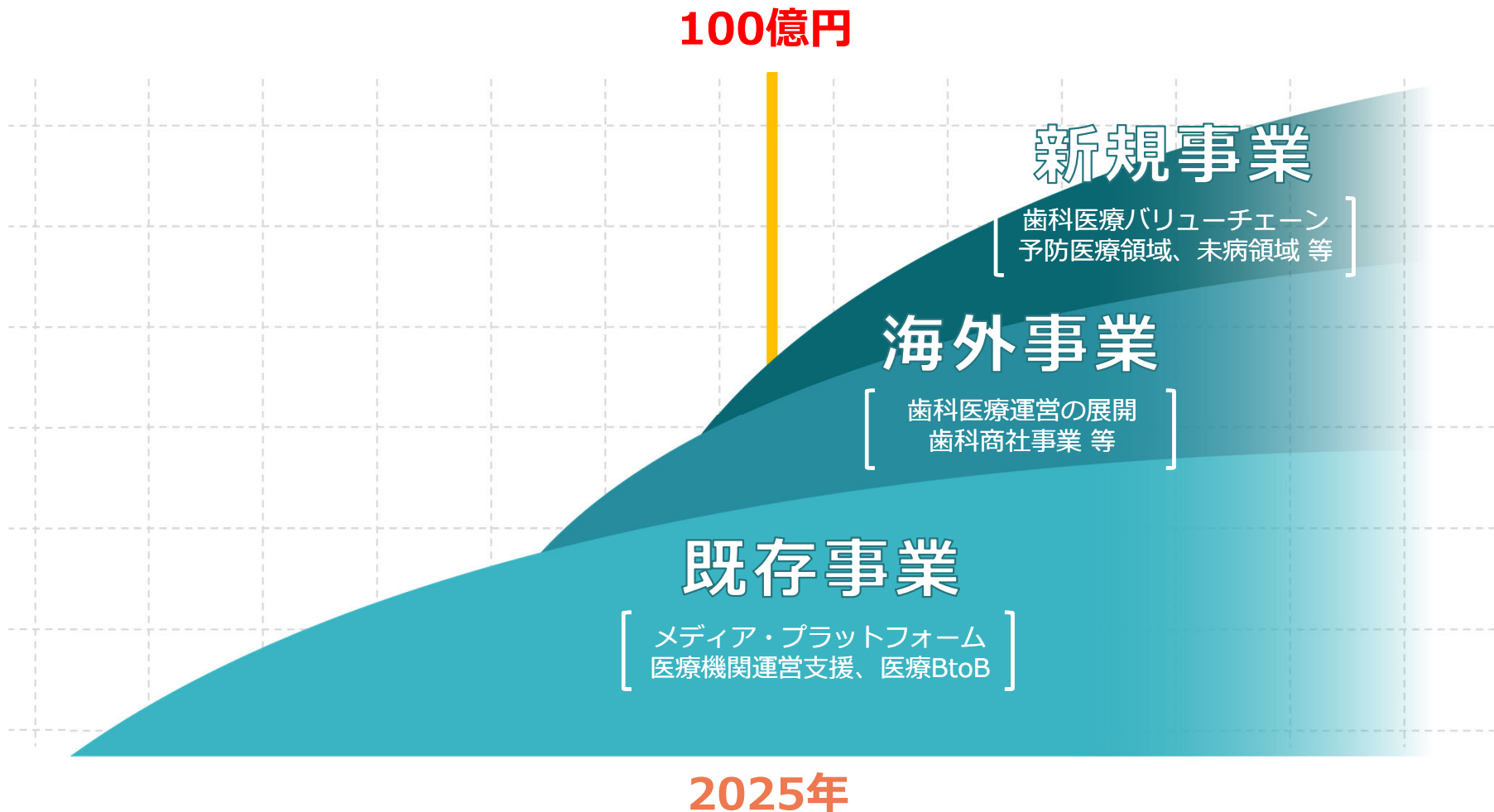
# 今後の成長戦略・成長ドライバー



## 成長を加速させるブランディング創り



～2025年5月期売上高100億円に向けて～



# 売上高・営業利益（前回計画値との差異について）



直前期（2023年5月期）の売上高は当初計画のとおり、4,500百万円となりました。

これはメディア・プラットフォーム事業の歯科分野において受注が好調に推移し継続契約の増加により売上高が増加したことや、医療BtoB事業において、新たな取組みの成果で売上を伸ばしたこと及び医療機関経営支援事業において、2022年3月に連結子会社（孫会社）化したNU-DENT Co., Ltd.、D.D.DENT Co., Ltd.の売上が加わったことによるものであります。

営業利益は当初計画（320百万円）を上回り、379百万円となりました。

これは、利益率の高いメディア・プラットフォーム事業や医療BoB事業が好調に推移したことや、医療機関経営支援事業においてNU-DENT Co., Ltd.の収益が加わったことなどによるものであります。

2024年5月期については、売上高は5,000百万円を計画しております。メディア・プラットフォーム事業は堅調に推移し、医療BtoB事業では歯科医療従事者の会員数が順調に伸び、新サービスであるオンラインでのデンタルショーも軌道に乗るなど売上高の増加を見込んでおります。医療機関経営支援事業ではM&Aを活用し日本、タイにおいて歯科商社事業が順調に拡大、当社グループ内でのシナジー効果も現れ2023年5月期と比較して売上高が増加する見込みであります。

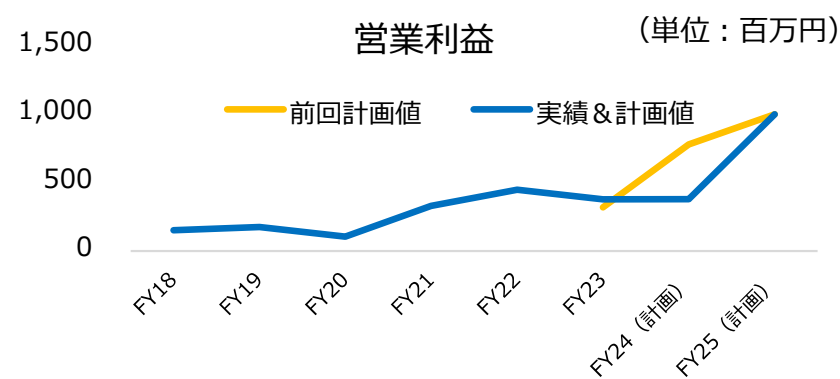
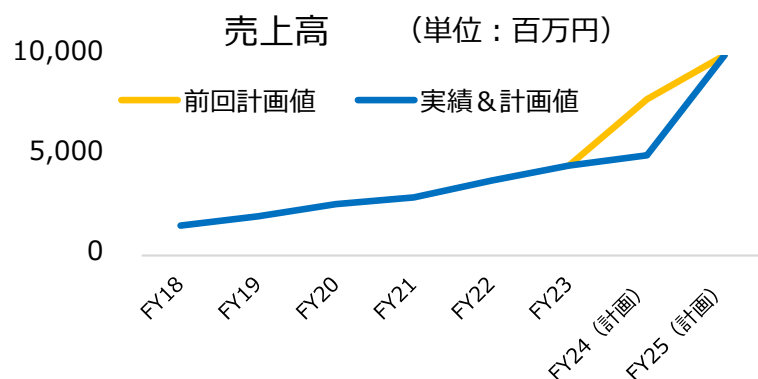
しかし、当初計画しておりました7,800百万円を下回った要因は、既存事業は好調に推移する見込みであるものの、新領域における市場調査やシステムの開発、新メディアのビジョンの策定などに時間を要しているため、当初計画における新規事業の立ち上げに遅れが生じており、2024年5月期の計画には含まれていないためであります。「未病・予防領域」、「歯科医療向け納品プラットフォーム領域」においては、事業開始に向け研究開発を進めており、今後の進捗によっては2024年5月期の業績に影響を及ぼすことも考えられます。

2025年5月期においては、2023年5月期に採用したプロフェッショナル人材を活用し、既存事業成長及び新規事業構築の加速を図ります。新規事業では2023年5月期に新たに開始した不動産事業の拡大を目指しております。さらに、「未病・予防領域」においては新メディア構築を進め、メディアを中心として歯科医療業界での未病・予防に貢献できるサービスを展開してまいります。

既存事業領域では、医療機関経営支援事業、タイ歯科医療プラットフォーム事業において積極的にM & Aを仕掛け事業拡大、新規事業領域である「未病・予防領域」において新規メディアの早期収益化と不動産事業を拡大することで当初計画の売上高を達成すると見込んでおります。

2024年5月期の営業利益は380百万円を計画しており、当初計画を下回っております。これは来期以降の業容拡大に向けた組織体制の強化、成長のための戦略的投資を積極的に行い、コストが先行するためであります。

2025年5月期以降については、当期までの先行投資の効果が現れ、当初の計画を達成すると見込んでおります。

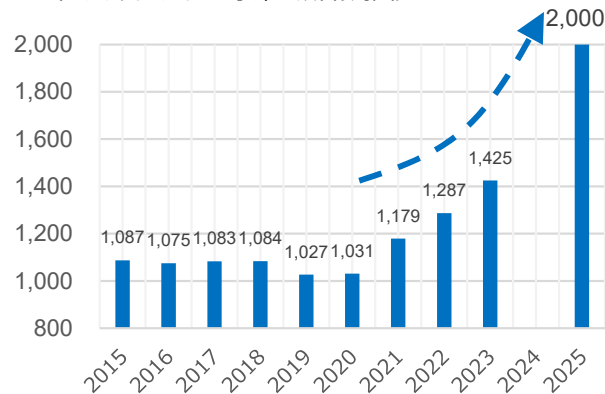




創業当時の成長期において、当社グループは、「インターネットにおいて産業未成立の領域を探求する能力」「専門性を追求する能力」により、主に歯科医療において専門的な情報を提供する自社メディアを中心にポータルサイトを展開する「メディア・プラットフォーム事業」を創り上げました。その後「産業化した領域を拡大する能力」により、2006年以降、歯科クリニックを支援する医療機関経営支援事業、歯科関連企業と歯科医療従事者をつなぐ「医療BtoB事業」を拡大してまいりました。

その結果、2023年5月末現在で、歯科医療機関との取引数が約3,000クリニック、ポータルサイトの無料会員約10,000クリニック、歯科関連企業との取引数112社、歯科関連メディアにおいて歯科医療従事者約5万人の会員を有し、「歯科医療プラットフォームビジネス国内No.1」を築いてまいりました。当社グループの既存領域においては、下のグラフに示したように顧客数、歯科医療従事者会員数の獲得を目指します。

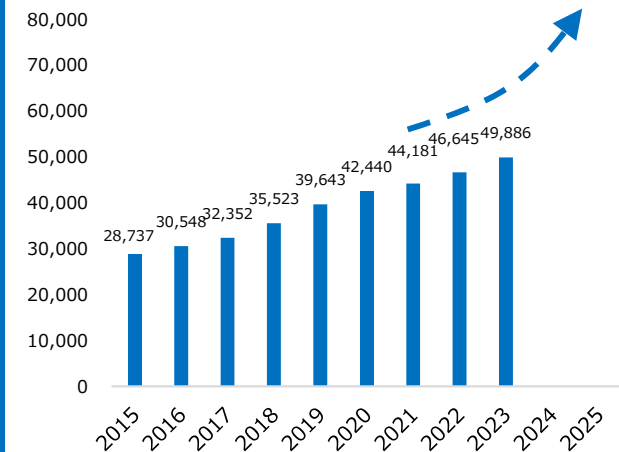
メディアプラットフォーム事業 顧客数推移



メディア・プラットフォーム事業においては、歯科医師が多忙なことから歯科医療業界の参入障壁が高く、新規参入が厳しいものとなっております。また、インターネット広告市場は年々拡大し、今後も継続して拡大することが見込まれます。

当社グループではすでに当社が運営するサイトに登録されている約1万の無料会員クリニックをはじめ、全国の歯科医院に対してこれまで培ってきた歯科医療業界との関係性、ノウハウを活かし、サイトの価値の向上及び営業力の強化により顧客数増加ペースを加速させ今後も更なる成長を目指します。

歯科医療従事者会員数

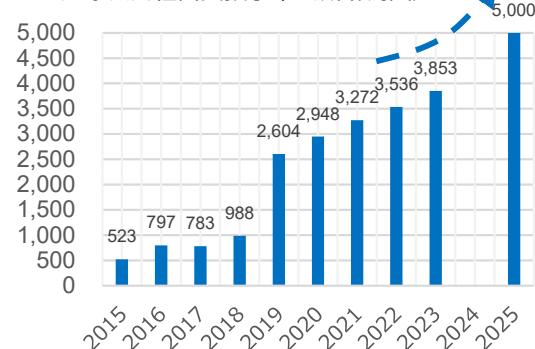


何らかの形で当社グループのサービスを無料も含めて提供しているケースを会員として、会員数の推移を見たのが上のグラフです。4万人を超える歯科医療従事者が当社グループの会員となっております。

ただし、その中で売上を上げている有料会員の数は、メディア・プラットフォーム事業で約1,000件、医療機関経営支援事業で3,000件となっており、会員数と比較すると、まだ多くの有料化の拡大余地があります。

また、M&Aを積極的に行い新たな会員、クライアントを獲得していくことで事業の成長を目指します。

医療機関経営支援事業 顧客数推移



歯科診療所は約68,000件で推移しているものの、毎年1,400~1,700件が開業しております。

開業、経営支援、歯科機器・用品の販売及びマーケティング支援のすべてをワンストップで行える当社グループはその強みを活かし、開業から事業承継までサポートすることで事業の拡大を目指します。また、DX化が遅れている当市場において、いち早くDX化を推し進めることにより先行者利益の獲得を目指します。

さらに、積極的にM&Aを推進し事業領域の拡大及び顧客数の拡大を目指します。

# 6. 事業等のリスクと 対応策



# 事業等のリスクと対応策

以下は、成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクです。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

認識するリスク	顕在化する可能性	時期	リスクの内容	リスクへの対応
M&A等を含む投融資について	中	中～長期	<p>当社グループは、事業規模の拡大を目指すため、既存事業の強化・経営ノウハウを活かせる事業など新規事業領域への参入とその強化を通じた企業価値の最大化を経営上重要視しており、そのための手法の一つとして、今後、M&amp;A等を含む投融資活動を強化してまいります。</p> <p>買収後に未認識債務の判明や偶発債務の発生等事前の調査で把握できなかった問題が生じること、買収後の事業の展開等が計画通りに進まないこと、買収後の事業維持につき想定以上のコストが生じることや事業提携先の企業が後に競合相手となり当社グループとの提携中に獲得したノウハウ等を利用されること等が生じた場合には、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。</p>	<p>対象企業について事前に可能な限り詳細な審査を行い、十分にリスクを検討した上で、M&amp;A等を進めてまいります。</p>
情報セキュリティについて	中	中～長期	<p>当社グループは、事業活動を通して、お客様や取引先の個人情報及び機密情報を入手することがあり、また、営業上の機密情報を保有しております。</p> <p>サイバー攻撃、不正アクセス、コンピューターウィルスの侵入、情報セキュリティの欠陥等により、万一これらの情報が流出した場合や重要データの破壊、改ざん、システム停止等が生じた場合には、当社グループの信用低下や業績に影響を及ぼす可能性があります。</p>	<p>お客様や取引先の個人情報及び機密情報について厳格な管理体制を構築し、情報の取扱い等に関する規程類の整備・充実や従業員等への周知・徹底を図るなど、情報セキュリティを強化しております。</p>
人材の確保・育成について	中	中～長期	<p>当社グループは、事業運営にあたり、各事業領域や職能において専門性を有する人材が必要であり、今後とも事業拡大に応じて継続的な人材採用・育成を行うことが欠かせません。</p> <p>将来的に、優秀な人材の獲得が困難となる、人材の育成が計画通りに進まなくなる、在職する人材が社外流出する等の事態が生じる場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。</p>	<p>人材の採用のため多様な採用手法を用いて優秀な人材の獲得に努めております。</p> <p>また、OJTや教育研修、マネジメント研修を実施し、人材育成にも力を入れております。</p>

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）のもとになされております。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何等の検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

当資料のアップデートは、今後、本決算発表後8月を目処として開示を行う予定です。

株式会社メディカルネット